

150

394

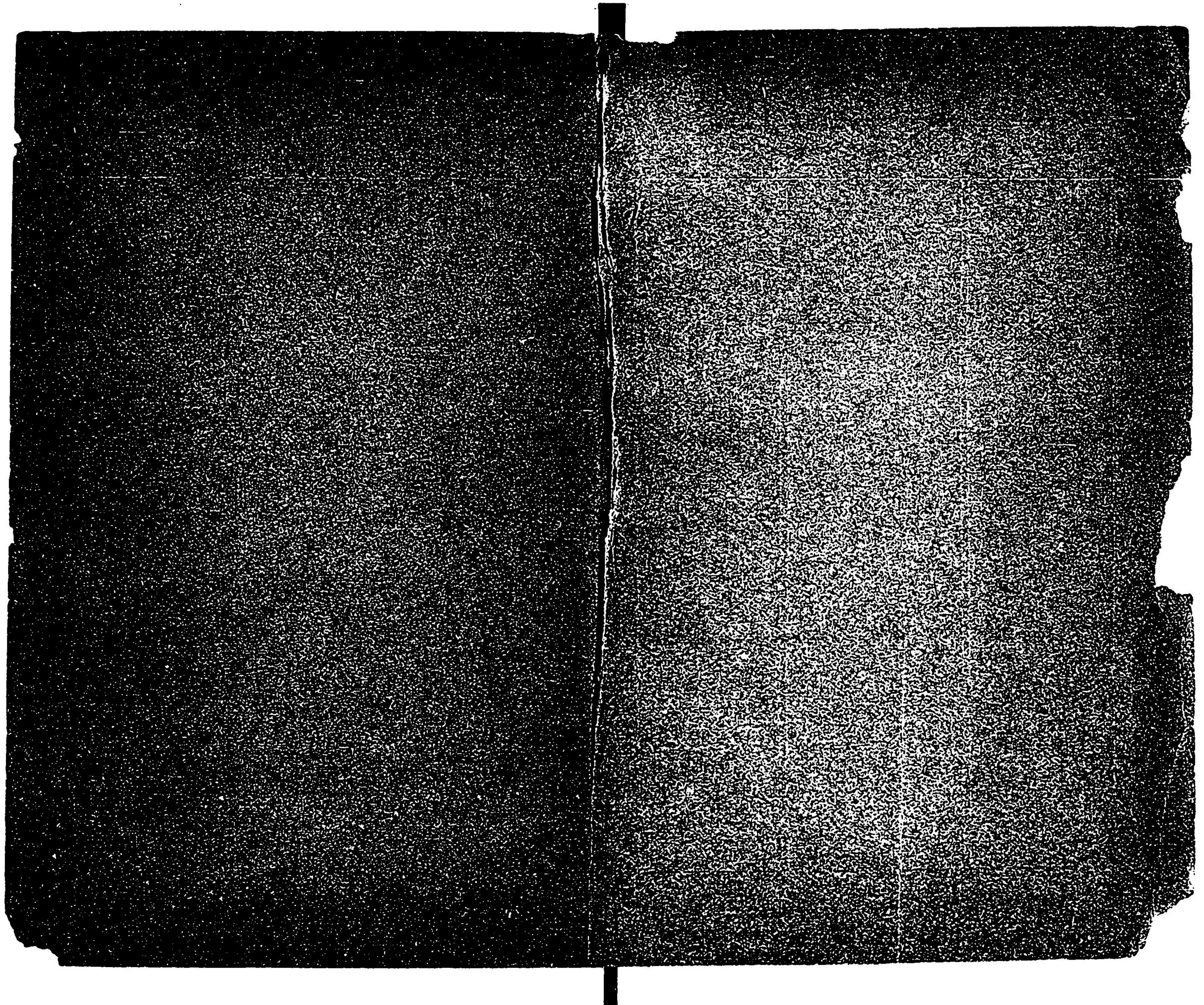
禿了教著

世界宗教畧話

下卷

京都

興教書院



緒言

余は三世の父母の外又た一種の父母を持せり何ぞや謂く原因結果の眞理法を説明し玉ひたる聖典の慈母と、世界善惡の現象を眞寫する印刷物等の悲父之なり、佛祖聖典の慈母は日々余が無形心身の幼稚無頼なるを撫育し玉ひて因果撫無の闇路より轉迷開悟の樂園を導き玉ひ、聖哲博識の筆跡たる書籍雜誌新聞たる悲父は無遠慮も社會の善惡を陶寫して日夜不道德の恐陥を沈没せんとせざる有形の五體を救済す、噫父母の洪恩不可稱不可説不可思議と可言故も余はこの父母を敬愛すること龍王の珠玉より、赤子の慈母に於るより百層之を欣慕す、故も余は一日塵魔の障礙に由りてこの父母に不值時は飢日に食を闕き闇夜の燈火を失ふの苦慮に沈む、然るに余幸に父母の恩澤に由り因果法の公園を樂歩するの身となりたること多生劫々の幸福何事か之を比せん然りと雖とも閉目開目吾々の義務たる自行化他の大業を想ふに吾々も世界の同朋をして

幸福の彼岸に至ら令む船長なり、車掌なり豈輕々自の大任を抛て一世を輕過して可ならん耶、是れ曩ふ余か海外諸宗教の實景を裏探し彼此宗教の實理を比校し内は増々大乘無上の燈炬を輝か令め外は大悲傳普化の宣布を試み聊か報佛恩の一滴を盡と成せし所以なり、而して上卷に亞細亞阿弗利加二大州の實況を略話し畢りたれ、今亦歐羅巴米國の大畧を記し世界宗教の實況を知んと欲する者の參考を備んとと宰ふ千里を歩む一步の助ふもならば著者の幸福不過之云爾

一 余上卷に續て直ふ下卷を著んと思ひたるも爾後塵魔の襲ふ處となりて果さず頃者偶ま寸暇を得てこの書を著すに至れり

一寸暇の際日誌中より採著したる書なれば文章前後錯亂して讀者の徒勞多からん幸に之を恕せよ

明治二十六年七月

禿了 致 識

世界宗教略話下卷目錄

●歐羅巴之部

●英國之部

- 位置、面積、人口 一丁
- 風俗、家屋 三丁
- 宗教 六丁
- 英國佛教者之理由 八丁
- 英國佛教者之現景 十五丁
- 英國之大學校 廿丁
- 倫敦之畧景 廿六丁
- 日本領事館、同公使館、
- 東洋語學校、不列顛博物館、
- 同讀書室、ガアールリ
- 印度省圖書館、倫敦二大寺、
- 倫敦時侯、結言、

●佛蘭西之部

- 位置、面積、風俗 卅三丁
- 宗教 卅四丁
- 佛蘭西之佛教 卅六丁
- 一者直接宣布、二者美術的宣布、三者翻譯著書宣布、
- 馬里塞港畧景 卅八丁
- 里昂之畧景 卅九丁
- 巴里之畧景 四十丁
- 日耳曼之部
- 位置、面積、風俗 四十二丁
- 宗教及十字軍 四十三丁
- 日耳曼佛教事情 四十六丁
- 一比較宗教進步之結果
- 二物質學進步之結果

時18
859

世界宗教畧話下卷

禿 了 教 著

●歐羅巴之總論

况等も了知せらるゝ如く。歐羅巴は東半球の西北に位し。東吾亞細亞。南地中海。西大西洋に臨みたる一大文明國にして陸に「ウラル」山「アルプス」山等の十六大山。河に「ダニユール」河「ヴォル」河等の六大河。海に地中海。白海。等の諸海有り。宗教は新舊耶蘇及び回々教佛教等の諸宗。面積は大凡三百九十方二千九百二十余方哩。人口は大凡三億五千二百九十三万五千余人を含有するといふ。

○英國之部

位置。英國は横濱を去る一万一千九百六十五哩を隔つる歐州の西北に位し。東佛國と相對し。西南は大西洋に。北は北洋に。而して大不列

○英國之部

ぐれいとび

三哲學進歩之結果

○伯林府畧景 五十二丁

○伯林之大學 五十二丁

●伊太利之部

○位置、面積、風俗、人口 五十四丁

○宗教 同上

○羅馬法王盛衰之一言 五十六丁

○羅馬教希臘教分離 五十七丁

○羅馬府之畧景 五十九丁

●魯西亞之部

○位置、面積、人口、風俗 六十一丁

○宗教 六十三丁

○露國佛教 六十五丁

○聖彼得堡府畧景 六十六丁

○歐州下等社會宗教思想 七十丁

●米國之部

○位置、面積、風俗、宗教 七十四丁

○米國佛教及ひ倫理 七十七丁

○紐育府畧景 七十九丁

○華盛頓畧景 八十三丁

○フイヤドリアイヤ 八十三丁

○チカゴ 八十五丁

○桑港畧景 五十五丁

○日本國二大悲件 八十七丁

○結言 九十二丁

世界宗教畧話下卷目錄終

顛島及び愛蘭島の二島より成立し。目下大英國と稱する中、蘇蘭、愛

蘭、威勒士の四國を含有と。面積 英。威二國五万八千二百六十五方哩。

蘇蘭 三万〇四百六十三方哩。

愛蘭 三万二千三百九十三方哩。

人口 英。威兩國二千九百〇一万五千七百余人。

蘇蘭 三百九十九万五千五百余人。

愛蘭 四百九十一万八千三百余人。然れども英國の人口調査法は十年毎に之れを改むるものなれば。前調と後調との大なる差異を生ず。余が滞在せし西曆一千八百九十一年(我明治二十四年)の人口調査の當年にて有りたるも。余は其の調査前、米國へ移りたれば。今記する統計の其の前調に由ると可知。扱本國の如し、是小國にも不拘年々其の屬國の範圍を廣め。月々其の殖民を増加するの可驚なり。目下屬國及び殖民

地の面積は。百五十九万九千八百八十餘方哩にして。又人口は二億七千五百五十余万人を有せりと言ふ。故に彼國人。常お我々東洋人を誇稱して言く。英國女皇ブイクトリヤの版圖に、大陽常お没することなしと。而して如し、是の小國にして如し、是の大版圖を有せるの源因は。全く耶蘇教宣布の術策おて野蠻の愚民を籠絡令ると。易商戰に忍耐冒險する。貧財奪國の開戦に身命を不顧の三由に依らざるはなし。嗚呼彼等か三大器具の結果も亦大ならずや。

風俗及び人情 西曆前五六十年比。羅馬の「シイザア」征路前の不列顛人は。家屋お代るに樹蔭を以てし衣服の纒に獸皮木皮おて有りしも。征畧後の大お羅馬文明の風俗に移りたり。其後「デッス」及び「サッソ」の世に至りて家屋も木造石築を知り。衣服も麻布羅紗等に進み今日尙「ハット」を稱する帽もこの代お初まれりといふ。其後「ノーマンデー」の世代ハ漸く進て剪髮蓄髯等を初め目下の英語もこの時代お始まれりといふ

次ハ「フランダセツト」の世にハ家屋衣服等に金銀を飾用せる事流行せり。次に「ランカスター」及び「ヨーク」の世には「テンカスター」王黨は一切紅白を尊ぶ風有り。「ヨーク」王統は紫青を好むの風なりしといふ。次に「チウドル」の世この時代ハ「マリー」及び「エリサベス」の二女皇の時代なれハ英國華美の風俗ハこの時代を以て至極とせり。嗚呼婦人の性質は何國も同じ事なる哉。次の「スチエワルド」の世代ハハ黨派ハ由りて。長髮長衣短髮短衣の二奇風流行せり。自今「ハノブアー」世ハ千七百十四年「ジョージ」二世カ。即位より一千八百三十七年ハ今女皇「アクトクヤ」の時代なれば世人の能く知る處なり。一言以て之を言ハ名譽利財の爲ハ何なる冒險も退カす。打ならば金銀を以て打べし。表面社會に名譽を得ハ。裏面我妻も可任といふ風俗なり。故ハ目下の英人に交際するハ初めて之と會するも忽ち親子の如く親密を現す。雖然彼等ハ餘分の利を食ま令めすハ今日の親密ハ明日の讎敵の如し。余或時都合に由りて甲

旅館より乙地に轉せしこと有り。館主種々の甘言を以て余の留館を促す。余調査事業の都合に由て之に應せず。館主忽ち余ハ無法の金を請求せり。余不_レ得_レ止某に之を訴ふ。某來て忽ち館主の妄請を呵す。館主某の「ポケット」へ金を投す。某俄然色を正して館主ハ同意を表して。余に勸るハ館主の請に應べきを以てす。余些少の金錢ハ外人と訴訟するを不_レ欲終ハ彼等の強請ハ應せしこと有り。嗚呼白晝余ハ面前ハ有りて和_レ是の所致をなと驚くに尙余り有り。其他「テームス」河の汽船會社「オーク、オーク」の「ステーション」等ハ切符の殘金ハ就て云_レせしこと數度有り。吾日本人ハ外國の者一人と見る時は汽車蒸氣等の會社員ハ可_レ成保護注意を加ふるハ反して彼等の中ハ之と異なること雲泥の如し余或時一人の英人に向て試問して曰く。爰に一大急迫の事件起りたる時。家屬四名有り。若しこの中の一人其れカ爲めハ犠牲となりて死せば餘の三人ハ皆無難なる事有りとせよ。然る時第一誰カ其の死ハ可_レ當

やと英人答云く世も不用たる老母なりと。余唯た彼れか答を聞て爲めに一滴の熱涙を流したるのみ。

家屋。多く煉瓦と石造りして前室は美おして奥室を粗悪おす。日本の風とは正反對おして又人情自ら家屋お現れたると考へらる。

宗教。英國は「チャルチ、オブ、イングランド」(エビスコパル、チャルチ)ヲ國教と定たる國なれども。自ら蘇蘭は「チャルチ、オブ、スコット」(プレスビテリアン)ヲ信奉し。愛蘭の「ロヴァマン、カヅリツク」を信奉する者多し今英國太古よりの宗教歴史の畧況を一言せし則ち左の如し。

從紀元前至後四百四十年「太古の不列顛民屬」(「ヌルイジブム」)と稱する拜物教なれども一度ひ羅馬の屬國となりたれば彼のチウト、ニウス等は古來の宗教者を戮殺し殿堂を破壊して羅馬の教法を弘めたり。

從四百四十年比至千六十六年。「アングロ、サクソン」王英王となりし以來一度耶蘇教の跡を絶しも。七世紀の終より再び耶教この國お弘まれり

從千六十六年比至千百十五年、「ノーマンデー」世の耶教増々弘まれり。

從千百十五年比至千三百九十年比「プランダゼチット」世は彼の猛惡なる「ジョン」王の承認せし大憲章中お關する條件多し。又「エドワルド」一世の時の權利証明にも大に僧侶の權利を加へり。

從千三百九十年比至千四百八十五年「ランガスタ」及び「ヨーク」の世は唯戰爭お間なくして宗教おは可記事なし。

從千四百八十五年比至千六百三年比「チユートル」時代は。宗教革命の時代おして「ヘンリー」八世が皇后「カザリン」離婚の件お就き羅馬法王の王お對し宗教破門の令を發せ。王之に屈せずして英國の宗教を自ら監督して管長の位置お居れり然れども王の獨立宗教の大陸「ルーテル」等の革命とは異り唯羅馬の所轄を分離したる而已。(王の法王より宗教大保護者の尊號迄貫たる舊教熱心者たりしも離婚の一件より忽ち讎敵となれり。嗚呼彼等の宗教も又輕々たる物なる哉)次の「エドワルド」六世は新教大熱

心にして次の「マリー」女王の舊教者なり女王の新教の僧侶「トウマス、クラムス」等以下三百余人を焚殺し新教の寺院を破壊す。次の「エリサベス」女王は「マリー」の妹なるも不_レ拘舊教滅亡の爲め終身盡力するも間無かりし。

從_二千六百三年比_一至_二千六百八十八年_一「スチユワルド」の世は「セームス」一世の舊教者にして神權論を増々唱導したり。次の「チャールズ」一世の神權論を妄行して終に人民の權利請願を出さ令ひるに至れり。後蘇國も逃て彼の國にして斬せられたり云。

從_二千七百十四年_一至_二今世_一「ハノーブアー」世。「ジョルジ」四世は「エルサベス」以來の國禁を解て千八百二十六年も一般の宗教者も國教徒と同權を許す又翌年舊教解放の令を發して宗教の自由を許す。以來英國の宗教の亂麻の如く分離して目下二百余派の異義を生せり英國宗教の畧歴史如_レ是英國信佛者の理由。英國は宗教を國教として政府大に之を保護するに

も拘らず。近來佛教も歸する者大も増加せり豈奇怪の至りならずや。抑も英人等の捨耶歸佛とる者を見るに吾日本人の基督教も歸するとは大に其の趣きを異にせり。我國人の基督教を信するは彼等が百方金力等も由り皮相の慈善等も由り數年の後漸く下等社會及び無學の婦女子の信徒を得。又淺薄短才の青年が彼等の甘言を妄信し更も佛耶兩教の書籍を比學せずして信者となり。或は外人の穢涎もて糊口とるに由て不_レ得_レ止彼の教徒と成る等とは黑白の相違有り。如何となれば彼の國人の佛教者と成る人を見るに更に右等の理由に依らず。自ら英譯の經論を調べ佛耶兩教の旨義を比學し。忽ち佛教甚深の妙義に感じて驚て敬信とる學者社會なり。見玉へ彼等が如き金銀等を散して彼國も佛教を弘る者有るかを之を宣布するに先達て之を敬信するの増加とるは全く佛教の價直有ると基督教の妄誕なるも由れり。余が在英中二三の信佛者も歸佛の理由を問たるも彼等の答辨實も左の如し記して彼等が捨耶歸

佛の理由を證せん。

或曰く基督教の未開盲昧なる古への猶太國民には適當なる宗教ならん然れどな文學日に進み智識月増と十九世紀の人民には不適當なる宗教なり。如何となれば基督教者が命脈として憑む希伯來語ヘブライ語より譯したる三十九編の舊約全書を見るに上摩西の五經より下二十余人の言跡たる律例、預言、聖録等の如何して無上の聖典と尊信すべき價直有るかを知らず。亦希臘語より譯したる新約全書二十七編。上基督の言と尊む四福音より下約幹默示録に至る使徒八人の書簡も如何して永世の靈魂を托すべき價直有るかを知らず。宗教は唯之のみの時は尙可尊信然りと雖も航海術一度び開け釋迦世尊の演説たる修多羅の譯書を見る今日に至りては誰が其宗教を撰ばずして可ならんや。之れ予が基督教を捨て、佛敎に歸せし所以なり。

又或曰總て安心立命の方針たる宗教書は明中之明確中の確ならざる可

からず。然るに靜かき基督教の聖書を調るに四韋陀三藏可蘭等の中最も不完全の書たるべし。如何となれば彼等が聖書の命脈とも頼める摩西五經に於ける必ずや摩西の手が記したるもの非ざるを判然す(申命記の終る所の如くエホバの僕摩西のエホバの言の如く「モアブ」の地に死せり云々)死者何ぞ自記せるの術有ん諸の教會の種々の曲説を附せるも未だこの妄誕を覆ふ不能(又新約全書も異説紛々亂麻の如く漸く紀元四百九十四年の羅馬の大會議に初て完備を許せりといふ。如是邈然幽靈の如くなる聖典に由りて永世不死の未來を信すること不能。是余が佛在世に阿難に勅して結集の遺命有り滅後聖者の遺命に由りて結集する三藏を信する所以なり(余摩西敎の下に聖書を就て云々)せり上の二言に由りて思ひ半に過るならん故に多言を不要なり。

或曰予は二世の幸福を欲する者なり故に基督教を不信なり。如何となれば基督教は信者をして大に不幸なら令る宗教なり。見玉へ教祖基督

が磔刑に處せられし(タイベリヤス帝十九年)以來彼れの十二使徒を始として自殺或は死刑に處せられし者多し。これ果して神が却て一神教の宣布を曠し故なる歟。亦英の「リッチャード」第一世は十字軍の爲には吾城廓も拂ふべし云。獨逸の「フレデリック」三世が十字軍の爲めに身を忘るゝ程熱心にして共此の軍に由て敵の爲めに死し水中に溺れて死したる。其他佛國「ルイ」九世の戦死を初として二百年八回に數十萬戰死す。これ果して教主の舊跡「耶路撒冷」を回教者の手より取り戻さんと成したる罰なる歟。其の基督教に熱心なる者の多く不幸に値ふことは少く歴史に着目する者の明了たる處なり故に基督教に不信なり。

或曰く余は國の文化を欲する者なり故に基督教を信せず。如何となれば基督教の文明の進路を障礙するものなればなり。見玉へ聖書中の文化的科學的の世を文明に導く事を説くか否決して之を不説のみならず彼の聖書は妄誕を以て充滿せり。然るに世界を今日の文化に至ら

たる諸學者は彼が妄誕を發くを驚怖して。百方學者の進路を障礙する力を盡たるに非ずや。彼の地動説の六祖「ガレリチ」氏天文學の中祖「ピルノー」氏等を或は獄中に泣か令め。或は火刑に處したる等の皆是文化の進路を妨げたる明證に非ずや。然るに彼の宣教師等の歐洲の文化は基督教の賜のなりと妄言す。是他人の寶玉を奪ふて吾玉なりと誇稱するに何の差別か有ん。余はかゝる偽言を吐きて良心に愧ざる基督教は飽迄信する事不能也。

或曰く余は道德と慈愛を欲する者なり故に基督教を信すること不能。云何となれば彼の徒の説く處を聞けば基督教は道德を旨とし博愛を以て満てりと説くと雖ども。其の實例に至ては夫れ之に反せり。見玉へ羅馬法王の宗教裁判及び神聖局に於て無道の苛刑の爲め生命を失ひたる愛憐者の多き。中世佛國に於て新教徒を殺害したる且西班牙に於て猶太教徒を殺害したる如き。又我國(英)の「マリー」女王の所致の如き今

猶思ふて總身粟を生ず。又無慈悲的の宗教も非ずして何ぞや。凡そ宗教なるものは所説の眞理を聞て初て之を尊信するものなり。決して苛制を以て信せ令るものに非ず。然るも基督教の性質を見るも苛制的壓制的を以て満ち慈愛的の部分實に少なし。余(答人)英譯の佛書を見るも順逆の二縁を愛撫し更も苛制壓制は不見なり。之余が佛教を信する理由なり。又目下吾英國に居る數十萬の賣淫者數十萬の犯罪者等有りて。社會を不道德の海底に沈ま令る事年一年より甚し。然るに督督教は是等の人民に宗教の道德を教へ人の人たる道義を知ら令る能ざる不價直なる宗教なり。「スペンサー」及び「ベンザム」等が別も倫理學派を起して基督教もて倫理の治まらざるを看破したるも道理なり。由て余は薄愛的不道德的の基督教は不信なり。

或曰く余は宗教の安寧を欲する者なり故に基督教を不信なり。見給へ基督教三大派の所論より小は吾國(英)二百余の小派を見るに舊教たる「ロー

マン、カヴリック」及「グリーキオースドックス」派よりは新教「プロテスタント」を聖書律外の放逸派と誹り。新教は舊教を聖書を誤用する宗派なりと貶して古來より相互に讎敵視するのみならず之が爲めも戦端を開き。或は殺戮せらるゝ者數を知らず。如レ是衝突軋轢無究なる宗教より。古今平穩も來る佛教の愛求と可きを信ず。故も余も基督教を厭忌して佛教に歸す。或曰く余に忠言して曰く余曩日日本も遊びたること有り偶々上野の公園に行く時正も艶陽の天春風駘蕩櫻花爛熳の時なり。一の園丁手に箒を持って云く嗚呼塵多き公園哉と而して更も頭上の櫻花を不顧なり。今尙余が面前に其の奇件有しが如し云云之を日本の出來事に喩るも外國宣教師は園丁の塵のみを嘆て頭上の櫻花を不稱が如し。日本の民屬の野蠻なり未開の塵の多きを如何せんと而して基督教も勝る道德の花温和の櫻花は佛教公園の國中に満り。然るも日本人中往々宣教師園丁の嘆聲のみを聞き。頭上櫻花の美を知らずして佛教の公園

を空過し。耶蘇教の草野に入る者多し。吾々外人よりハ氣之毒の至りなりと。余は彼の忠言を聞て總身汗を流その外無かりし。基督教國の人にして佛教に入る者大畧如是。

○英國佛教之現況 余在英の時英國佛教の景勢を翻譯。出版。新聞。講義の四種として京都反省會へ報じたること有り。今其の不足を補ふて間接宣布。直接宣布の二種として畧記せん。間接宣布とは何ぞや。謂く上に言ふ翻譯等の三種之なり。現今英國に有りて翻譯著書及び新聞雜誌を以て上流學者社會に間接に佛教の妙味を知ら令る實に大なり。第一ハ指を屈するものハ牛津の大學出版會社に於ひて翻譯したるハ。大無量壽經、阿彌陀經を初めとして法華經、涅槃經、轉輪經等の諸經及び東洋之聖典の中にも種々佛書の必要なるもの有り(既ハ四十卷迄出來)又倫敦市「ラッド、ゲード、ヒール」五十九番「ツラブナ、コンバニー」ハては日本ハ關する書籍のみも九十六種發行せり。中には百人一首杯を漢

字。英字。羅馬綴等としたる格別有益と稱すべき程の事无き書も有れども。佛教を以て教育されたる日本人を稱賛したる有益の書も澤山有り(日本に關する書のみ)の目錄表有り(例せば亞細亞之光を賣捌く等倫敦の「ロングマンズ、グリーソン、コンバニー」にて發兌する散克利文典等を始として「ロイヤル、エシヤ、チツク」會「パーソン、チツクスト」會等枚舉に不暇。雜誌の重なるものハ「スピリット」ゼ、ツ、ウオールド「神智學會雜誌等なり。是等を間接佛教宣布と稱す。

次ハ直接佛教宣布とは倫敦市「デユクストリート」七番地ハ有る神智學出版會社は間接に出版も多く出せども社員が歐米其他各國ハ有りて直接講義及び演説する事なれば。(純精の佛教とも言ひ難しと雖へども。先づ歐米へ佛教を宣布するハ第一ハ指を屈せざる可からず)大なる活用を成せり。然れどもこの會の社員は更に佛教ハ大小乘の二乘有る事ハ知らざるもの如し。次に海外宣教會も直接ハ講義演説を成その目的

なれども未だ基礎の確固ならざる故神智學會は不及も。若し日本より英語に通じる僧にまれ俗にまれ佛教熱心の者一人滞在して。日本人の在英者と協議を遂げ。又日本大乘佛教を好む外人と力を協せ。月々一回の雑誌を發行し熱心に今宣教に従事せば。基督教に厭忌を生し居る外人は。大に之が賛成を表せる事の余が實際に就て保證する處なり。今倫敦にて營なみたる見真大師報恩講の畧況を記せし思ひ半ばに過くるならん。

倫敦見真大師報恩講之畧況

千八百八十九年(我明治二十三年十一月二十七日)英國倫敦市「サウス、ウエスト、アツパ、ツィンク」講義堂に於て執行したる報恩講の理由及び演説の大意を記さん。余在倫の或日收獲感謝祭に參詣せしこと有り。抑も英國に於ては毎年十月初旬より十一月初旬に至る間に各寺この祭を行ふ。其の旨意は年中の大小の麥を始として一切の食物は皆神の給

物なりと信し。其の報恩の爲め年々この祭を行ふ。故にこの祭には正面の十字架に葡萄等を結ひ付。又梨子等の菓物を供ふこと現在未來の差別有りと雖も報恩の爲め營むこと聊か日本真宗の報恩講に似たり。由て余が親友學士「ハット、フールド」に彼此相似たる事を語りしに。氏は大に報恩講の事を喜び是非倫敦にて執行致し度旨申さるゝに付。素より余が熱望せる事故夫々知友と會して之の事を議せしに。一會して直に賛成を得たるは十月十三日月曜日の夜なりし。從夫十一月二十七日迄四方の有志者に通知するは。一切「チーテ、ピルリー」氏之に當り會場の準備の一切「ドント、ルイカン、ピオン」氏配慮したり。而して同日會場の粧飾は正面には巍々として六字の尊号を掛け。右左には香花燈明供物を嚴莊し。堂内無數の瓦斯燈は見真大師の御威光と共に輝き正刻前より待兼たる來會者の貴女仲士は兼て配送し有る英譯の轉法輪經を持ち。甲乙互に満面笑みを含み今や遅しと扣へ居れり。扱正六時の時計の音

と共ふ打鳴らす第一の呼鐘あり。一統着席第二の鐘と共に一統正面の尊号に向ひ禮拜式終て各々椅子より同音を讀み出す。轉法輪經所説の八正道の聲は堂内を響て。正に淨土の聖衆か眞正の法輪を轉するの有様を成せり休憩「幹事」ドクトル、バッド、フールド氏開會の趣意を述ぶ大意左の如し。

諸姉及び諸仲士よ今夜は能く御參會下されました。私は本會を開會致しました理由。及び吾々が可く尊信「宗教は將來何れの宗教を眞正の宗教として。來世安心立命の方向を定る歟と申す事を一言申し上げまこと。抑もこの報恩講と申す事へ。吾英國て申せば收獲感謝祭日不能く似たる祭日にして。東洋亞細亞洲中日本國眞宗に於て年々執行する事て有りますとす。其の眞宗と申すは親鸞聖人と申し奉る高祖の開き玉ひたる宗派て有りますして。吾々歐洲人への最も適したる宗派て有ります。如何となれば同じ佛教ても捨家棄欲と申す。厭世主義の宗旨も有ります

すけれども。この眞宗は普通人民と齋く肉食妻帯を許し。而も今世法未來法の二法の鳥の雙翼の如く。來世の安心立命の方向と共に世の道義を專に勸むる宗派て有ります左右で年々薄情極る歐洲人は最も適したる宗教と考へられまこと。由て私も今回の祭日を初として大にこの宗をこの倫敦に弘まる様と。不及なから先日より種々配慮を致しました。然るに諸姉及び諸仲士の御賛成を得て無事に相勤るは何よりの幸福て有ります。扱御存しの如く私は若年の際より宗教お就て種々の疑惑を生し。間暇有る時の「ブリチッシュ、ミュージアム」に至り諸の宗教書を調るを以て何よりの樂と致しまして。殊に近來は博士「マクスミユラル」氏「ライスマ、ダブニット」氏等の翻譯書及び著書お就て佛書を調べ居りまそか。實に眞正の宗教は正しく釋迦佛の説き給ひたる三世法なる事を明めました。其上過る九月某の日今夜會同せられました「レベレント」禿了教氏と親密なる交際を仰く事あり。爾後氏の弊館へも毎度訪問せら

れ。私も氏の館へ参りて日本佛教の要点を拜聞致す事て。今頃は大小佛教の眞味を証り安心立命も定りたれば。何卒將來は家事を擲ち専ら佛教宣布の爲め此の身を犠牲に供んと決心致しました。然るに余が慨歎に耐一事と申す。此の倫敦に佛教に關する四五の會が有れども。一致協同は擬置き演説に新聞に互に讎敵の如き有様あるは實慷慨の至りであり有りませんか。希は諸姉及び諸紳士佛教の本旨とせる無我を不忘無我和合海に互に助け合ひ。將來の佛教者の名稱に不愧真正の運動を願ひ度く有りませと云。

次は余の「サンクス、ギープライング」の演題にて聊か卑言を述べたり左の如し諸の貴女及び諸紳士よ今夜は非常の寒氣にも御厭ひなく能く御來車に成りました私の喜び否此の席へ影向に成りました見眞大師は嚙々御喜びの涙を咽び給ふならん扱私に今晚初て拜眉致す御方も有り亦た是迄御交際を願ひました御方も有りませ。私は御國の言に甚だ馴れませぬ故。一言申上んと思ふ端々を書いて参りました。御聞取が御困難て有

りましたよが何卒御静聽を願ひませ。扱日本に現今佛教の宗は大凡十二宗程に分れて居ります華嚴、法相、天台、眞言、眞宗、淨土、日蓮、臨濟、曹洞、黃蘗、時宗、念佛、就中私は眞宗の僧て有ります抑も眞宗と申す宗は。今を去る大凡(西曆一千八百八十九年)七百十七年程前に日本の大高位の家に御降誕の御方て。御國で申せの最も「ロイド、クラッス」へ御生の親鸞聖人の御開成りた宗で有ります。之か御本地を解り易く基督教に比例して申せは。基督は「エホバ」の一人子と申す如く。親鸞聖人も吾々之救済主たる最上無極の悲智を以て吾々万民を救済せんか爲め。天より(解領易から令ん爲極樂を指す)吾日本へ御降誕在たる阿彌陀如來て有ります此の救済主か自ら開き給ひたが眞宗て有ります。若しこの御方が十九世紀以後契當の眞宗を開給ひて。吾々万民か平等に助かる眞宗を教へ給はば。吾々は二世の大不幸者で有たでありましたよ。然るに幸ふ今夜この

感謝祭を営ま令め給ふ。見真大師の御高恩て轉迷開悟の方向を知ら
 令め下されたるの報とるの尙余りある事てあります由て吾日本に於き
 ましては高下共お真宗の信者はこの報恩講を開會して祖恩を感謝する
 が例であります。抑も見真大師の教へ玉ふ宗義と申へ。他力易行の法
 門にして六ヶ敷教では有りませぬ。私がこの御國へ参りますも漚舟漚
 車の他力に乗らるゝなか々々一万千九百余哩の倫敦へ参られませぬ
 今靈魂(心臓)が悟りの彼岸へ到るも。夫と同様で吾々の凡夫中々。三生
 六十劫。四生百劫の功を積て小乗の彼岸にすら到る不能者か。如何し
 て無上菩提の大彼岸に倒着する事が出来ましよ。然るに此度は遇ひ難
 き他力易行の真宗に遇ひ奉り。五濁惡世のわいらこそ。金剛の信心は
 かりふてながく生死をすてはてい。自然の淨土にいたるなれ。と他力
 回向の金剛心ひとつて。二十五有海を安々と超過令め。自然の淨土へ
 到着致と平生業成の身となるの。全く他力の願船故であります。何卒

今夜勤まる感謝祭が年々この倫敦に相開かゝる様御盡力を願まよ云。
 終て在日本「セームス、ツループ」氏の譯ふかゝる御正忌の御文章を拜讀し
 又一統正面の尊号に向ひて禮拜式を行ひ了て。夫より各々佛教上の疑
 問を起し。一統に茶菓の饗應あり隨喜の涙と共に退會せし午後十一
 時頃ありし(因ふ云ふ余日本に居るの時毎年この法會を執行せざる
 を無し然れども今回の如き歡喜胸に満ち渴仰肝に銘すと言程の喜びは
 非ざりしに一万有餘百哩の海外に在て外人と共に祖恩を喜びたるもや
 前夜の如きは喜びの涙に床に満ち稱名諸共に夜の明るを待居りたり。
 附言余が「サウス、ワシントン」「インドミ、ユアム」在英其の際日誌を反省會
 にお報じたるにあり(お往たる時印度全國より取集たる金銀木石等の無量
 の佛像が楷上楷下お山積して穢塵中にお在り履音と共に動く有様を見たる時
 は無愧無懺の惡人も法滅の時ぞ今來れり。末法の有様の亦如し是なるかと。
 血涙兩眼に満ち總身粟を生じたるも。身を倫敦に留めて靜に内情を觀察を

下す時は、右の如の表面に反して佛教の光曜は暗々裡の中ふ廿世紀の歐洲を照す太陽たらんとするの實力を含有す。何となれば彼は種々の事情より現ふ佛教者と稱せんと雖、學者中には聖書の妄誕には已ふ驚怖したる者多けれなり。又基督教は今日文化の人民に德育を薰陶令る程の價直無を實識するが故なればなり。噫將來歐洲人に佛教の望有と如し是。

英國大學校 英國には「オクス、フォールド」大學校に目下三千餘の生徒有り。余が巡視したる時には松平、岩倉、高楠等の諸氏入學して螢雪の功を積み居られたり。又「キヤンブリッジ」大學は目下二千餘名の生徒有り。日本より入學し居る生徒も四五名在り。之又將來吾日本を左右する程の識者なりと見受られたり。而して爰ふの女子大學校有りて英國の女丈夫の多くこの大學より出ず。又「アインクトリヤ」大學は目下一千餘の生徒有りて上に次ぐ。

次ふ「ダルラム」大學には目下六百餘の生徒ありて又上ふ次ぐ。

倫敦の略況 諸氏も了知し玉ふ如く龍敦は世界第一の大都會にして。其の盛なること余が不辨を以ては百分の一をも語る不能。唯今其の要點の片隅を畧話するのみ。抑も龍敦市は「テムス」河の左右有ること。宛も我東京の隅田川に於るが如し。唯隅田川は直に海に接近し「テムス」河は海邊より六七十里逆るの異有るのみ。而して目下市中の町數ハ七千六百町。戸數五十四万七千四百十戸。人口大凡四百五十三万五千余。寺院千四百五十ヶ寺。郵便局二千二百。同役員一万五千多く歸人なり。○酒屋七千六百。○珈琲屋千八百。○ブレット屋三千二百。○屠所二千五百。○牛四百五十万(一年分)家二十六万。○羊魚鳥等億を以て可數。○ホテル五百八十。○辻車一万九千輪。○賣淫者三万人。○家なし三万三千人。○餓に迫る者三十万人。○極貧者三十八万七千人。○貧民工作所及び保護所貧病院にて保護を受る者五万一千人。

日本領事館 我領事館ハ「イースト、シ、ビシ」ヨツプスゲート」町八十四番

地あり。余が初めて倫敦に着したるの領事館にして。又英國にて初めて日本人を値ひたるは同番地内の横濱内外用達會社員高谷氏なり。氏の米國の某學校を卒へ英國へ來り。商業學實地經驗の爲め數年間倫敦に滞在する人故へ倫敦の事情には明なり。氏と副領事松岡君の配慮を由て。初着の生に大なる幸福にて有りし。該年在英の日本人は官民共に男百三十三女十三人。

濱○横○正○金○銀○行○支○店。も同町同番地に在りて日本人爲換等おは至極便也。三○井○組○商○店○支○店。も同所近くに有りて日本品必要の品物を高ふ。

日○本○公○使○館。余か英の時の「ウエスト、シ、キャビシデス、スクエヤー」九番地あり而して全權公使の子爵河瀬道孝氏にて渡歐本國人おは甚た懇篤に遇せり。毎年元始節紀元祭天長節等おは在英の本邦人爰に集り。兩陛下の御聖影を拜禮式有り。終て日本料理の饗應を給ひ。各々愛國の胸襟を啓き乙語り甲笑ひ歡を盡て飯館を。余不肖にして在日本の時

の左程陛下の洪恩を不知お。一度は海外お至りて公使館及び領事館等の保護お就き。大お天皇陛下の洪恩を証り及び政府の配慮お感謝せり。而して増々愛國の念慮を増し獨立の方歳を祈れり。

東○洋○語○學○校。同校の「サウス、ケンシントン」に有り同校は「プリンセス、オブ、ウエルズ殿下(英國皇太子)の主任にして博士「マックス、ミユラル」等の諸博士が授業の任に當り。散克利、巴里語を初として支那語、日本語より廣く東洋亞細亞の學業を教ゆ。然れども維新の際日本人の或る部分か。我東洋學の何たるを不知。唯た西洋學を狂學して西洋人お被笑たる如く。主伴顛倒するおは非ず。西洋の主學を補はんか爲にこの學校の必要を証るならん。我邦人の淺識者少く考へよ(目下普請増築し居れり)不○列○顛○博○物○館。是の「ウエスト、シ、グレイト、ルシエル」町おあり實に可愕古館おして諸博物も亦大古物なり。則ち埃及、希臘、羅馬「アッシリア」盛代の古物より英國の祖先不列顛時代の古物より。萬國大底無洩陳列せ

り。就中最も余が記憶せし物は南米より持來るといふ佛像及び石塔なり。其側なる理由書を見る。南米カヒンの山間に多く蛇の住む處あり土人地を堀るふ一の大穴あり。入りて之れを見る。地下に無數の町村あり。其の町中より持ち來れり是前世界の町村なるや。將今世界三千年の太古佛出世の際。佛教一度米國へ渡るも。地質の變動に由て地下の世界と成りたる歟。未だ不詳云とあり。噫世界は奇妙なる者なり。次ふ余の腦髓を痛めたるは館内ふ陳列しある日本物品の古物なり。は金銀銅の佛像或は梵鐘等の諸品あり。側なる代價附を見るに多く維新の際廢佛毀釋の魔風の際。淺慮輕念の愚僧等が嚴護法城の大任を忘れ其の價值の高下を不_レ論賣却して自囊を満さんとせしを。彼等利_ハ銳き外人は忽ち一擲の下ふこの寶物を得たるならん嗚呼々々。

博物館附屬讀書室。同館附屬の讀書室あり室内數十の役員ありて書籍出入の勞を取る。この室に入りて宗教其他の調査に着手せば。如何な

る事に關係せる書も一として無_レ不備。余は英政府が教育に莫大の金錢を不_レ惜。如是世界万国の書籍を集積して。調査に便なら令るは感心の外なし。余は熱望す増々吾國も教育の完全ならん事を。

ナシヨナル、ガアールリ。この美術館は「スプリング、ガアードン」の側にありて。遠く希臘、羅馬時代の諸畫より現世紀世界有名の畫工の手跡を纂集す。中ふ一枚何万磅の物あると聞く。余がこの館にて英政府の宗教注意の行き届きたるに感せり。何ぞや謂くこの館内の妙畫ハ十中の九皆宗教ハ關係ある之なり。例せば基督の母「マリー」が彼を愛撫する畫。或は基督が弟子に向て演説せる畫。或は基督が左右の盜賊と共に十字架上ふ有る畫等なり。故ふこの館へ入る者は畫の美なるを稱贊するより。寧ろをいふ宗教奮起心を引發令る力あり感心々々。

印度省圖書館。この館は倫都橋と「ウエスト、ミンスター、アベ」橋の中間なる諸官省中。最廣大の建築たる印度省内ふ有り。余かこの省館

へ出入せし時の監理長の「ドクトル、アル、ロスト」氏ありて。氏は万學に通し特み梵學に明なり。齡六十餘なるにも拘らず身体健にして事務不_レ倦。下官み命令して余等の調査を懇篤に令_レ助。一度この館ふ入りて印_レ度興廢の理由より。總て東洋と西洋の關係を調査せば。其の便を得ること蕪中に物を探るが如し。

ウエスト、ミンスタ、ア、ア、この古刹の英國第一の古刹にして。同橋の左側なる國會議事堂と相對と。紀元六百十六年比に創立すと云ふ。其後「デンス」遺族の破壊にかゝるも今尙小部分を遺存す「ヘンリー」第三世「エドワード」一世等の歴代帝王殊に御歸依あり現今の女皇「ブイクトリヤ」陛下も時々此寺へ參幸あるといふ。

セントポールス、カセドラル。この寺の世界三大寺の一にして。基創は「サクソン」以前にあるといふ。然れども千〇八十九年の火災及び千六百六十六年の火災にも罹れば。目下壯大美麗なる大刹は其の後の建築な

りと。

倫敦の時候。倫敦は世界第一霧深き名所なれば。其の實見お非ざる人は疑ふ程なり。冬期おは霧の爲め瀛車を休み晝夜共瓦斯燈を消さる事は珍しからざるなり。又夏期の際の傘の用意なくして外出の出來ざるなり。余が在倫中(明治二十四年一月七日舊十二月二十七日)にも「テムス」河の一面の鏡と變じ水上馬車往來せり同日「ハイド、パーク」の蛇形池の氷の已お七、インチ以上にして亦車馬の往來を許せり。

倫敦の結言。余は水晶宮の高塔より倫敦市を眼下に眺め下を景〇「テムス」河下を通過する「トンネル」道〇地下及び屋上を走る瀛車〇聖書出版會社、神學校、育兒院、貧民學校等の方針〇「レイセント」町の七辻〇「セント、ゼームス、パーク」の美景〇「タイムス」新聞社の盛況〇倫敦橋通繁盛〇夜間白鬼往來人をして地獄に誘引する驚景〇瀛車中盜賊の多き事〇往來乞食の群集〇余が秃筆を以ては數卷の書を著とも記盡する不能假令之を

詳載するも左程の有益は無かるべし由て之をて畧筆す。

●佛蘭西之部

位置。佛國の西北海峡を隔て、英國と相對し。及び白耳義と境す。東は日耳曼及び瑞西に接し。東南は伊太利及び地中海を包む。西南の「ピリニース」山脈を隔て、西班牙と連り及び大西洋に瀕す。

面積及び人口。面積は二十万四千〇八十二万方哩。而して人口は三千八百二十一万八千九百余人。本國は如是可憐程の大國と言ふに非ざるも。亞細亞に安南を始として面積十九万八千六百六十方哩。人口一千八百六十万。○阿米利加に面積四万八千五百五十余方哩。人口四十万。又阿弗利加に面積八十一万一千二百余方哩。○人口一千三百余万人。又其他亞西亞、亞細亞洲等にも多少の屬地及び殖民地を持せり。

風俗。この國の風俗は歐洲中華美開明の第一に位する國にして。人情最も浮薄輕佻甚し。終身裝飾贅澤を目的として新奇唯好の奇風俗なり。

故に歐米諸國の服裝其他の華美贅澤品は大概佛國より流行し始ると可レ。言然れども彼等の新奇唯好の奇風俗は。我日本人の中に自製自用の智藝に乏く犯りお新奇を唯好み。小は一家の貧困を不顧大は一國の財政を度外に視る類には非ざるなり。一言の彼等の華美を好を適評せば自國製の物品を自國人先お飾り。他國人をして之を羨ま令め必竟國財の一手段を間接お妙用する而已。日本人必ず彼等の華美を見て犯りに彼を羨む勿れ。

宗教。紀元前五十二年頃に「ジュリアス・シーザー」が「ケルト」族を畧定する前は。希臘古代の万神教に類する万神教を奉せしといふ。其後「フランク」民族の「クロブニス」羅馬の兵を放逐し。自ら佛國の王となる。王は紀元四百九十六年お自ら臣下に卒先して洗禮を受け大に國民をして耶蘇教を信せしむといふ。是佛國王の基督教信者の高失とて或は一説從之先小亞細亞より宣教師入りて基督教を弘宣せりといふ説有れども不詳

爾來羅馬舊教を以て國教とする有り(拿破翁一世の如き)或は今日の如き國民の多人種信奉する宗教は。何宗も不抱之を公認して年々保護を加ふるに至れり。爾れども法王が政權を干渉するハ一向不顧方なり。今佛國に於て宗教上最も著き異變の大なる件を言ハハ○一千五百十五年に即位したる「フランクス」一世が新教(佛敎)への新教は「ユリゲノ」派と稱する是なり日の「ルーテル」派の如き西の「ツイングリ」派の如きの「プロテスタント」には少く異なる處有り。徒に非常なる虐待を興る如き○同く二世が皇太后「カザリン」と重て新徒を酷遇する如き○一千五百六十年に即位したる「チャルス」九世の治世は舊新兩徒の宗論愈々盛みして宗教戦争に虚日无さが如き○一千五百八十九年に即位したる「ヘンリー」四世が「エチクト、オフ、ナント」(宗教自由の勅詔)を發布して大に佛國宗教上ハ一大自由を興へたる如き○一千六百四十三年に即位したる「ルイ」十四世が「エチクト、オフ、ナント」を廢して國內一般を舊宗を改宗令んと企る如きハ。佛國

宗教上に於ては同國の小兒も記憶する處なり。然れども依然國民の多數は舊教徒にして(現今二千九百九十余)次は新教徒(五十五万余)次は猶太教(五万余)其外種々の宗教徒有りて。青年及び學者社會ハ基督教を非難する者驚くべき程の多數なり。

佛蘭西之佛敎畧話。余が在佛中ハ或る統計表に依て。現今佛國中佛敎を信する者巴里府に三万里昂^{リオン}及び馬塞里^{マルセイユ}港等に於て一万合して四万余の佛敎者有るといふ。是等の人族ハ纔なれども將來大に望を屬せ可き職者なり。是等の職者が耶蘇國ハ生れ乍ら。何故佛敎者と成りたるなれば。耶敎の不眞理なるハ十九世紀文化日進む民心ハ不適當なるハ由るとは雖ども。亦左の三種宣布の盡力ハ由らすんば非らず。今左に三種の大畧を一言せん

一者直接宣布。この巴里市「アブイニウー、デユクニ」四十九番地東洋語學校の教師博士「レオン、ドロニイ」氏等の一派が所々ハ於てなす。講義及

び演説には妙ふ佛教の諸學に適合する文化適の宗教なる事を例証し。又た耶蘇教の盲昧未開の猶太國人民にの適當したる宗教なりしも。今日哲學理化學等進歩して之の學を以て。有形無形を研究するの今日にの不適當なる理由を説明して。國の文化を持んと欲せば佛教を學ばざる可からざる理由を直接演説講義の聲に由て令知之なり。

二者、美術的宣布、とは世人の了知せる先年我國へも來りし「ギメー」氏が印度、支那、日本等に於る佛像佛畫を始めとして。佛具、佛書、佛教に關する附屬品を蒐集せんが爲め。自ら東洋を巡視巨万の金財を擲ち。買ひ求めたる金銀銅木石の種々の佛像。例せば天台部は該宗に關する像及び書具。眞宗部には眞宗に關する佛祖の本畫像。七祖の論釋及び漢和十一部の聖教。四幅の御繪傳等の如し。而して佛教の三千年の太古如し是の幽遠妙義の義を示したる眞理宗教なり。如し是完全無闕の道德を説きたる宗教なり。如し是美術的を教へたる文化宗教なりと。千聞一見

の近術を以て佛教の價值を知らしめ。佛教振起の念を令生ば實妙々の手段と可稱。余が先に話たる龍動の「ナショナル・ギャラリー」に入れば。眼に觸るゝ諸畫に就て大に青年及び宗教淡泊の者。基督教振起の念慮を懷か令ると述ると。彼此比較して思ふべし。

三者翻譯著書宣布、とい「ミリュエー」氏の如き「パーブ」氏の如きは頻りに佛書の翻譯に従事し。又時々著書を公にして佛教學講究に便なら令む。余が在歐の際も度々書を以て佛教の義難に辨明を請ひたる事も有りし。馬塞里港界況、馬塞里港は佛國南部プロハンス州羅尼河の近くに有り。人口三十七万六千余有りて佛國第一の良港なり。東洋より歐洲へ航する者多く之の港より上陸して。各々往んと欲する地へ陸路鐵道の便に由る余香港及び亞歷山王港を見たる時は美麗なりと思ひたるも。この馬塞里に上陸したる時。歐洲の都會は又格別なりと思へり。余は船中迄名刺を以て迎ひ來りし「馬塞里グランド・ホテル」の主人に伴はれ。

迎ひの馬車に乗じて入館し同館より直ふ名譽領事「ジュリー」氏に通せり。領事よりは某お指揮して同港第一の「クランド、カテドラル」及び海邊山上の耶母「マリー」の堂。及び「ナポレオン」三世の離宮跡（今病院と成る）「シャトーブレリ」園苑等を拜觀せしむ。其翌朝一泊の拂を成したるお百六十六「フランク」請求書おは養生の禿は忽ち滿面青色お變じたり（余今に其の請求書を保存す）この港お於て記すべきお先にも話せし「クランド、カテドラル」之なり。是の寺は○從四十年前より。年々數万金を消費するも未だ成就お至らずといふ。如是の廣大なる寺院の内面は一切五色の大理石を以て積上たり。舊教徒の熱心も中々のものなりと思ひたり。又山上「耶母マリーヤ」の聖堂には諸人の捧物を以て滿り。之佛國人の航海する者乗船の前多く之お詣で、海上の無事を祈る事。我國の迷信者が金比羅を祈るに同じ呵呵。

里昂　ハ羅尼河と「サオン」河の合所お有る。佛國第二の都會おして世界

第一の製絹場なり。馬耳塞港より瀛車二百余哩程あり。此おは我國同仲社の支店及び正金銀行の支店等もあり。傘張の地絹より其他「ハンカチ」地。一切歐米貴婦人の好用する華美の絹地此の地より出ざるなし。吾國羽二重及び奉書等を機業を成と者必ず一見おべき要地なり。四万一千九百余人の中三十五万余人の終年機業に従事おといふ。後日我日本第一輸出品の生糸及び羽二重等を壓倒せんとする地なり。世界中此地を以て強敵となす。我國の當路者及び養蠶者機業家深く注意し慮る所有るべし。

巴里府の畧況　巴里府は佛國第一の首府おして。設し里昂より鐵路に依る時なり。西北に奔る凡そ三百哩おして。巴里東「ステーション」お到着と。之の「ステーション」ハ佛國第一の「ステーション」おして。數百の「レール」を布設し同時お數十の列車出入す。若し分時間を誤りて隣列車お乗る時ハ大なる迷惑を生ず。扱て是府ハ塞納河の兩岸に跨る事。倫敦に

於る「テームス」河の如し。彼の海邊より内地へ遡ること七十哩程あり。此の海邊より内地へ遡ること凡そ一百哩。又塞納河セーヌ架とる諸の鉄橋「テームス」河架する鉄橋の如し。今巴里府と倫敦とは歐洲一二の都府なれば。二三の比較を擧ぐ。倫の人口三百九十六万三千三百余。巴の二百三十四万四千五百余人。倫には屋上及び地中に鐵道有り。巴里に之なし。倫には美なる王宮有り。巴に之なし。倫は毒霧有り。巴は無し。倫に河底に「トンチル」道有り巴は無し倫は夜間白鬼羣を成す巴は倫より少し。巴に玻黎を以て覆たる町有り倫に無し。「ニウブアル、シチー」及び「パリシオ」ランシチー」の高樓倫敦市の「レセント」町の十三階に不及も其の清潔は倫は勝れり「ノートル、デアム、ツヘアイ」寺の高くして大なりと雖ども。倫の「セント、ポールス、カセドラル」には不及。然れども境内の「ナポレオン」第一世の墳墓は倫の「チルソン」氏及び「ウエリントン」氏の墳墓より勝れたり。巴の「コンエルト」公苑は倫の「ハイド」公苑より小なれども噴水の

妙の一層奇觀あり。巴の凱旋門は倫の海軍門も甲冑の兵。舊を守て馬上に徒立とるよりも拿翁の威光を追想するに足れり。

日本公使館　「アブイニウー、マールシアン」七十五番地あり。

●日耳曼之部

位置　日耳曼は西佛蘭西、白耳義及び和蘭を境ひ。北は白海及び北海洋に臨み。東魯西亞及び埃地利に接し。南埃とポヘミアに接す。而して國祖は印度の「アリアン」の或る一種族の移住したる者と言ふ。又紀元前後暫く羅馬の半屬國たりし頃も。時々羅馬人抗敵したる故也。羅馬人はこの民族を常に日耳曼(兵士之義)と稱せり。又國人は自ら獨逸と稱す。之國祖を神と祭りたるより稱呼をといふ。而して紀元七百七十年以後查列曼大帝の四孫ピピン、ロテール、ルイ、チャールスの中ロテールは伊太利を領しルイは東フランク則ち日耳曼を持ち。末子チャールスは西フランク今の佛國を分領す。降て近世に至り一千八百六十六年

普埃開戦の分離迄は。三十余國の同盟國なりしも一千八百七十一年に至り普佛の戦争調和せる。維廉一世普國の王として兼南北兩部同盟の日耳曼帝位ケイザルを即さし以來近世の一大開明國なり。

面積。本國而已にても。二十万八千七百二十哩。

人口。本國而已にても。四千六百八十五万五千七百余人。

風俗。太古の風俗は家屋に代るに山間の樹下。或は木枝結びて之を住めり。家屋に石造及び煉瓦の竈なるものを用たるは中世の事なり。而して古へは奇怪なる風俗にて。人々訴訟有る時は原被互に毆闘令しめ。或は素手ヌデテ烙鐵を令握等。種々の奇法を以て曲直を判せり又奴隸法も近世迄行れたり。然れども近世法律其他の万般に大に改良を加へ。今日は歐州中最も上位に居る。然れども太古の餘習未だ去らずして。決闘の風は今も時々上流社會を初め遺存せり。目下著き風俗の目に立つもの。男女痴蝶の舞踏會及び音樂會の大流行なり。故に國內數百の

温泉場は何時も舞踏の響と音樂の音ナドを覆フひざるを得ず。

宗教。紀元前後羅馬の半屬國たりし時以前は「エルサ」(地神)「ウーデン」(幸神)「サル」(軍神)「フライア」(婚神)等の万神を祭り。禮拜場は多く山林にありし。然れども羅馬人と追々接近するに順て漸次耶蘇を信する者現れたり。然れども紀元二三百年頃は全く無同様の信徒なりしも。終るに今日の如き國內に滿るに至れり。今曼國に於る耶蘇教の二三件の大なるものを記せば大畧左の如し○紀元千七百七十年以後羅馬帝國より一層大なる。查列曼帝國を創設せし同帝は耶蘇教を以て最大一の利劍として使用せり。由て同帝の大國を組織したるに開戦より耶蘇教を最も骨髓とせり○又八百年の頃英和等の諸國より無數の宣教師入りて弘教に盡力したる中諸尼羅撒遜の「ボニフェース」なり。彼は古來曼國古有の寺院を破壊し。僧尼を殺殺し無法至らざるなくして。日耳曼寺院の總長となりたれども終るに土人のため被殺たり○紀元九百年

頃には僧侶は本務を忘れ無學懶怠唯兵刀を以て互に權力を争ふに至れり
 ○殊に世人今尙も聞くに總身粟を生ずる八回二百年間の十字軍なり。
 十字軍 一千九十六年の第一の十字軍(ヒートル等)及び第七回千二百四
 十八年(佛ルイ九世)第八回千二百七十年(同上九世)の前一後二の三回おは
 格別日耳曼國は盡力せざるも○第二紀元千四百四十七年(日コンラット三
 世)第三紀元千八百八十九年(日フレデリック一世)第四紀元千二百二十年(日
 フランマル候)第五紀元千二百十六年(曼帝フレデリック二世)○第六紀
 元千二百三十八年の中間五回の十字軍にハ帝命を損し軍馬を失ひ大に
 國力を盡したるも。今ま尙回々教者の手より取り戻す能はず。
 千四百八十三年十一月十日イースレベンお生れ千五百三十二年二月十
 七日お死たるマルチン、ルーテルは曼國否歐洲基督者が。羅馬法王無道
 惡逆神の意に背けりと罵々とする舊壓制宗の中より濟ひ出したるのみな
 らず。目下世界一億一千万人の新教者が妻帯自由の宗教内お沐浴する

ハ其同時お佛國お「ジョン、カルビン」蘇蘭お「ジョン、ノックス」、瑞西にツウ
 イングリ等の宗教改革を稱る者有りと雖へども。或は著書に或は演説
 に或は獄中の悲泣も。更お種々の大難に不屈百難千苦お當りて素志を
 不變は「ルーテル」を以て最第一とす。其結果終に彼が死後チャールス第
 五世をして千五百五十二年お信教自由の勅詔を發せ令るお至れり。彼
 れが一代の事業悉く記し盡す處おあらず。否余が喋々を不待して了知
 せらる事なれば蛇足を不書。唯だ熱心の結果は邪正共お其の素意不空を
 感するのみ。其後新舊兩派の軋轢増々熾盛を極め。終お日耳曼國內等
 お悲雷骨山涙河の三十年間戦争の奇世界を現お至れり。而して現今
 の曼國宗教界ハ新教二千九百九十五万余。舊教一千六百二十五万猶太
 教五六十万余等有りと雖も。唯儀式的習慣的お止り宗教おは歐洲中
 尤も冷淡なり。(余謂へらく宣教師を海外お出して屬國の範圍を弘るお
 利器とせんと欲する露、英、佛、米等中曼國を以て最冷淡と想像せらるゝ

なり。
 日耳曼の佛教思想　曼國は商業及び機業等の進歩は英、佛、露等に數歩譲る處ろ有るも。哲理宗教等の學術に至りては彼を凌駕すること數歩有り。この學術進歩の反動力は目下曼人に何なる結果を與へたるかを一言せん。彼の學術進歩の反動力は終る耶蘇教理の淺薄なるを以ては。彼等哲學思想に富たる識者の心性に安心立命令るの價値無きを看破し。之に代る眞理圓滿なる宗教を求めて彼等が渴心も満足を與る。甘露の法水を樂で喧々囂々するは不可覆事實なり。余は今曼人「ジョンメル、マウン」氏の短言は能く曼人の宗教思想を表白したるを證と。氏曰く「今や世界を照す眞理の光明は其の發生したる東部の遙遠なる地方より。西土へ渡來し異教を風靡しつゝ廣く四方に傳播し。各人へ安樂幸福及び解脱を得せ令んと云云。噫基督教國の人をして如是の預言を令吐は。目下東洋の一隅に蟄在しつゝ有る佛教眞理の眞宗教が。二十世紀の歐

洲宗教政府の柄權を掌握せんとする前兆なる歟。余は左に曼人が基督教を厭忌し佛教の眞正黨をして彼等心性の來世に大に自由を得んとするは畧して三理由に依るといふ。

一者比較宗教學進歩之結果　近晩英に佛も東洋語學校を設立して。東洋學の必要を學ばんとするは歐洲一般の興風なり。就中大學校内に比較宗教科を置き青年の者も宗教の義理を令學。彼此の優劣を研磨令るに曼國を以て第一となど。加之曼國今日の學者社會に總て比較宗教の心を傾け。救濟主の勝劣、能說言教の廣狹、所說教理の淺深、布教手段の優劣、靈魂輪回の有無、二世三世の立不立、道德標準の理否、哲理有無の比較、博慈薄愛の實否、造物主有無の理不理等大小となく皆比較す。其の財糧としては散斯克及ひ色里語等の翻譯書。及び歐洲目下の識者の著者に就て。或は講義に或は演説に智囊を振て研究を遂ぐ。如是道理を標準として佛耶を比較する時は。誰か耶蘇教の薄理に愕き佛教深遠の大眞理に感服

せざらん。之曼人の耶蘇教を厭忌し佛教を隨喜する以所なり。
 二者物質學進歩之結果、人として靈魂の着歸する處无きなり。航海者に
 羅針盤无きよりも尙一層甚しとぞ。然るに近晩世界何れも物質學の進
 歩の發明者自をして令レ愕程の長足進歩を極めたり況や淺識の老若に於をや。見玉へ社
 會有害無益の雷電も一轉之を應用するに至てハ闇夜伯林を白日に轉じ
 て人の往來に便を與へ又伯林市内を電氣氣車を以て無煙の中ハ愉快の
 往來を令レ爲小事より。大ハ世界の出來事を瞬時間ハ令レ知て大ハ世界の
 使用を成す。又地下ハ沈没して社會の用を不成し石炭も。海上にあり
 てハ數月間の航海を數日に短縮令め。陸にありてハ數月の行旅を數時
 間ハ疾行令め。其他美術學といハ機械學といハ。緻密ハ其の進歩を迅
 ハするハ疾風よりも甚し。是等神術を産現せる理科學を以て一一基督
 教者無上の寶珠二世の命脈とも憑ハ聖書所説の不道理を探究する時は
 思想に富む文化人の來世を救濟する價直无きのみならず。諸教會中の僧侶

及ハ宣教師自身そら五里霧中に迷惑して。靈魂の安着に苦む事なれば。
 彼の物質的進化の理ハ明なる識者は大に基督教の無道理を笑嘲し。因
 明の如き論理法の活用學を教へ聲明の如き幽妙の美音學を説き。工巧
 明の如き社會機械學の元を教へ醫法明の如き救濟法を教へ而して心性
 の歸着せる内明に至りては。因果の理法を以て解脱の進路を開く佛教
 を稱賛して奉信するハ至れり。

三者哲學進歩の結果、近時歐洲各國互ハ哲學の必要なるを知るハ同一
 なりと雖へども。日耳曼國程哲學大家の踵を接して顯れたるハなし。

故ハ曼國の學者社會ハ世界の現象無現象の理を究るに多くハ哲理眼鏡
 に由て究めざるハなし。就中近世曼國上流社會の宗教思想ハ皆哲學を
 以て宗教學に見解を下と。一度ハ哲學を以て佛耶兩教の適不適を討究
 せる時ハ。耶蘇教の哲學ハ違背し佛教の哲學ハ附合せるハ。彼の宣教
 師否大學の神學博士初め面々舌を卷き口を閉ぢて止むなければ虚心平

意の人は。感涙を流して佛教に歸するは必然の理なり○千七百二十四年に生れて心外を客觀を立て終に主觀を令歸んと終身盡力したる韓圖の自覺説も○千七百六十二年に生れ現象無現象の二を唯一我境を攝したる非布底の主觀的説も○又千七百七十五年に生れ現象不現象の二を絶對的の主觀的のみと不立主觀相對を立て終に客觀的に重きを置く倫の客觀説も○千七百七十年に生れ主客相對絶對不二不離の妙義を明したる。歐傑爾の主客合同説も嚴密起信唯識等に附合すること附節を合するが如し。故に彼の哲學は彼を捨て佛教に歸するなり。

伯林府の畧言。伯林の目下日耳曼帝國の首府にして「スプリー」河市の中央を通過するは。宛も倫に於る「テムス」河に於る「ゼネー」河に左も似たり。而して之を架する諸鉄石木橋の電氣氣車を以て往來の便に供す。市内の五部五百二十條と分ち左右の樹木と高樓の櫛立を是るは倫、巴二市之に次ぐ。現今大凡人口百三十三万余を有す。當市の記べき事。美は

諸博物館及び大學校、寺院、公園地、電氣氣車等、醜は舞踏場の痴蝶群。街上の行吟。男女の鯨飲。淫風の公然等種々有れども。余が眼に、格別記すべき價直无き故美中の二三を左に畧話してこの國の話をつ結せんと欲す。

獨逸圖書館。この館内には太古日耳曼人の用ひたる「リウンス」と稱する文字を木或は石或は鉄板に彫刻したる「ブック」(太古日耳曼語にて右等の書籍を「ブック」と名けたる故現今英語にて書籍を「ブック」と呼ぶの之を基を)を始め散斯克及びバ里語(原書は至極少し)等の諸譯書より希臘語、羅典語の諸書希伯來語の原聖書等より。宗教哲學等の書籍を蒐集して幾十万卷なるを不_レ知。哲學書籍の廣大なるは英、倫の不列顛博物館附屬の圖書館も一步を譲れり可_レ感。

伯林大學。日耳曼同盟國所々の大學中第一とす。紀元千八百年に此地に設立せりといふ。其の建築法は牛津大學より美なれども。彼の如

く古々敷无き故何となく感情は薄きなり。然りと雖もこの大學へは東西兩洋の皇、華、士族より諸の學士書籍を負て入校し。年々幾多の博士を出す事なれば牛津大學と伯林大學とい何れが甲なりとも乙なりとも難レ辨。目下この大學内ふ就學する者五千四百八十余人なりといふ。就中哲學科生千九百三十余人○醫學科生千三百十余人○法學科生千四百三十余人○神學科生八百余人なり何れも宗教に不熱心なれども中ふ佛敎者多し。

●伊太利之部

位置及び略歴 北亞爾伯山アルプスを隔て、瑞西スイツ及び奧地利オーストリアに境し。東亞德的アドリヂ海に濱臨し。南は地中海ふ突出して希臘ギリヤと相對し。西佛國等フランスに境接す。而て伊國は彼の羅馬帝國の祖國ふして。昔しは東西兩帝と區分し(紀元二百八十四年「ダイオクレシアン」帝の時。帝は小亞細亞、ナイユメシアに都し西都を以太利のミロンミロンふ置き。又紀元三百九十五年「セオドシ阿斯」

帝の二子長王子ホノリアスは西部を支配し。次王子アルカシ阿斯は東部を支配したる時等の如き)或は東西を一統して治めたる時(二王子西東を分配令しめたる父「セオドシ阿斯」帝の如き又君士坦丁府コンスタンチノールへ自ら新羅馬と稱したる東西一統の帝國を立たる時の如き。又四百七十六年西羅馬を廢して東帝已而と元老院が決議したる時の如き)或は隣國の所領となり(七百七十四年に查列曼帝の時の如き。九百年頃日耳曼帝オト一世の時の如き千八百十五年以後「ポー河」以北奧國の所領となりし如く)其他國乱麻の如く民愁秋霜の如き國にて有りたるも。千八百六十六年普、奧開戰の際伊ハ普を助て漸く今日の獨立國に加入することを得たり。面積 十一万四千四百余方哩。人口 二千九百九十四万三千六百余人。風俗 昔ハ羅馬盛衰と共に時々風俗の變遷したる事は世人己に之を知れば今贅言を要せず。今は獨立以後の風俗人情ふ就て一言するのみ。

伊國目下の風情ハ佛人の如く浮華輕俳の傾き有れども。佛人の如き自由共和主義無し然れども近來美術と養蠶と舊跡保存主義にハ國民上下共に熱心の風ハ進みたり先々安心。

宗教 往昔の宗教ハ希臘人の信じたる「ジュピタル」神の如き多神教なりしも。神を希臘人の如き人類質と視せず。羅馬人は人間外の聖全の者と定めたり(諸儀式畧之)

基督の誕生 紀元前二十七年ハ位したる「オーガスタス」帝の時生ず。

基督磔殺 の時は紀元三十二年ハして紀元十四年ハ即位したる「タイベリアス」帝十九年なり。

使徒「ポール」等の斬 紀元五十四年に即位したる「ネロ」帝の時なり。

基督徒値虐殺 「ネロ」王のみならず紀元九十五年ハ即位したる「トラリアン」帝。二百七十年ハ即位したる「オーレリアン」帝。二百八十四年に即位したる「ダイオクレティアン」帝等の賢君明主は。皆基督教ハ奪國主義なる

を看破したる故強く之れハ抗敵せり。故に古へ羅馬國帝の基督教を信せし帝は多く暗昧の王多し。

基督教公許 三百五年に即位したる「ガレリアス」帝は基督教等の信教自由を許したり。

基督教々國 三百二十六年に即位し「君士坦丁」府へ西東羅馬を合同して自ら新羅馬と稱したる「君士坦丁」帝の時なり。帝は空中に十字架を幻見したる迷心より深く該教を信じ國教と定めたるなり。然れども羅馬ハ基督を國教と定めたる舊跡も。今の回々教帝の皇居と成り居るハ奇なる哉。

羅馬法王盛衰之一言 法王の盛衰又理由无きに非ず。抑も羅馬法王が無比の威權を得たる理由ハ。紀元四百七十六年に羅馬の元老院ハ西。

羅馬の不要なるを議決し終に西を廢して東帝のみと定む。以來法王は羅馬府ハ居を定め西。羅馬所領の諸國は四分五裂と小獨立の相となり。

是等の理由より今迄西羅馬帝の所領たりし人民等の尊敬を法王に歸したり。之法王が政教兩全の威權を得たる一大原由なり。以來法王の權力は歐洲諸國の帝王も不及程に至り。終つ彼の威名煌々たる查列曼大帝に對してすら僧官授與權(ライイト、オプ、インベス、チユア)を争ふ程になり。又最も暴權無道なりしグレゴリ七世法王の如きは曼帝ヘンリー四世を三晝夜廓外に令立等の珍事すら醸(いひ)お至れり。(爾ども後曼帝の爲めサレルに又謫死せり)○又一千三百五十年より千三百七十七年迄佛國の法王は遁隱(かくれ)せしことも有り。又中々の法王「インノーセント」八世の如き淫事の狂愚に奔り。法王の身として妾お數人の子を設ける如き。又「アレキサントル」六世法王の如き人お鳩毒(おんぞく)を吞せんと欲して隠蓄したるを庵人誤て法王に令加味自ら死たる如き。又「ヨハネ」二十三世の如く嘗て海賊を業として罪惡犯さる无き法王の如き。又「レオ」十世法王の如き赦罪(けんざい)狀等の無法より私欲を逞ふする者等有り。然れども當代の法王「レオ」十

三世迄二百六十三代の法王永續したるは亦不思議の事どもなり。余は法王の話に續て法王と東部教會との軋轢。終つ羅馬加特力と希臘教との分派する理由を辨するの必要を覺ゆ。羅馬加特力教と希臘教。この二派は共に基督教中の舊教なるも。何故今日の如く仇敵も管ならざる相違を生じたる歟を話さば。其の源も遠く昔へお有り今其の大原因の二三を挙げば左の如し。

一者言語の異とは未だ羅、希分離せざる前。基督教會中お五大監督を置けり。則ち東部の「ニコルサレム、アレキサンドリヤ、アンテオケ、君士坦丁府」の四と羅馬府の一是なり。この中東部の四の希臘語を以て演說(えんせつ)祈禱一切の教法お用ゆ。又羅馬の一教會は總て羅典語(らてんご)を用ゆ。言語異れば一切の感情を異おとするは自然の道理なり。是れ分離の原因たる一也。二者權利の競争。とは羅馬府の教會の基督教一宗の首領は羅馬監督たるんと欲し。東部の諸教會は君士坦丁府の監督に教權を握ら令んと欲

そ之れ其二由。

三者教理の背離、とは三百八十一年に君士坦丁府コンスタンティノープルを開きたる宗教會議
ケ條ふ。我輩ハ父より出る聖靈を信ずと有るを。羅馬教會にては之れ
に背き聖靈は父と子より出ると宣布する事。東方諸教會の意主に憤怒
を生せ令めたる事之其三由(于今羅馬、希共ハ其の義を固執す)

四者儀式の相違、とは洗禮式バプティスマの際羅馬は一度東方は三度(後ち追々其の
異なること種々ハして羅馬教は祭司は無婚姻なれども希臘教は之を許と。
併し監督ハ希臘教も不許)○羅馬教ハは晚餐ハ俗人ハは唯「パン」のみを
與へ希臘教ハは「パン」葡萄酒を一般に與ふ等)

右の外種々小原因有れども右の四大原因より分離の基礎起れりと可レ知。
而して全く分離し了りたるは一千〇五十四年なり。其後一千四百三十
七八年ハ一致合併の策を搆したるも終に不成して今日に至る。

羅馬府の畧言。羅馬府ハ伊國の首府にして世界一億七千五百万余の信

徒の尊奉する聖彼得大寺の有る舊跡府なり。伊國ハ三面海ハ臨のぞみ北方
又亞爾伯山の難所有り。奈翁一世ガこの國へ攻め入りし時ハ中々の困
難なりしことハ吾人追想する事なれども。目下佛國よりも埃國よりも
鐵道の他力に由れば。何なる者も容易ハ彼の舊跡等を巡回することを
得る。この府に種々記すべき事有れども今ハ略と。唯聖彼得大寺の該
畧を記して東洋の一大本山と比較せんと欲と。抑もこの大寺は其の基
礎千有余年の久きに有りと雖ども目下存在せる大寺ハ。從今三百〇三
四年前ハ法王充分の威權有る時。國中無比の大理石を集め世界第一の
美と妙を盡し造營したる物なれば。余ガ訥辨を以ては到底千分の一を
も述ること不能なり。先に話したる倫敦の「聖ポールス、カセドラル」も壯
麗なりと雖ども。流石ハこの大寺は世界羅馬教の大本山だけ有りて可
レ標築物なり。今莊嚴の一端を申さばこの高堂の頂上迄は二百七十余間
ハして。又堂内の坪數は大凡五千坪ハ餘るといふ。この大堂の兄弟と

も比較可べきの近年再建せられたる。東本願寺の祖師堂も充分なる造作裝飾を加へたらんは。兄となり弟とならん歎。然りと雖も余の廣大の鹿堂にてこの腐敗極らんとする吾國の道義を振起し。正法を維持する事難れば粧飾造作の大金を布教傳導の實費に活用せられん事こそ願しけれ。何如となれば聖彼得大寺は今尚巡回者の眼を愕し。往昔羅馬法王の威權を追懐する財糧には適當なれども。法王の領地は伊國政府の所有に歸し。法王の權力は昔日百分の一にも不爾。目下はこの大堂を諸國信者の奇附金と其他巡回者の餘澤等も依て漸く維持永續の資糧に當つ。法王の宮殿たる「パチカン」等も種々政府の使用する今日と變したればなり嗚呼有爲轉變の世の中かな。

●魯西亞之部

位置 北北氷洋及び白海に臨み。東は烏拉山及び裏海。南高加索山及黑海西波羅的海及び埃、普、瑞、那を境ひし種々の宗教と種々の民族を含む

世界無比の一大國なり(紀元八百六十年頃迄は伯蘭地安の所領又十五世紀頃迄は蒙古の所領たり云)

面積 歐部二百十六万七千五百有餘方哩にして。又亞細亞部は四百八十二万二千八百有餘方哩。

人口 九千〇七十八万〇四百十九人。西比利亞四百哩三万二千五百有餘右廣大なる面積人口の中千八百七十五年以後は。毎年平均二万三千二百十四方「ウョルスト」つゝ畧奪したる割合ひなりといふ。魯政の云何なる方法を以て如是年々他國を畧取すると言ふ。露政の必ず一定の法則に由る今其の法則の主眼とする二三は左の如し。

一者政教關係 露政は政教一致の國法に由りて國帝と管長を分割せず。露帝自ら宗教の法權を掌握し露國々教を信する者。必そ露帝を聖神たるの念慮を懐かしむ。

二者教師兼問諫 露國の政命を受けて他國に宣教師たる者。必ず其の

國の内情外件を調探し時々本國へ通して露政外畧の基礎を柘く。
 三者鉄道遠征 露國は商業用の名として孜孜鐵路布設に國庫を傾く。
 而して布設の際其の進路に關して。自の欲する處に異説を稱る國有ら
 は忽ち戰端を開きて其の國を畧す。
 四者軍事干涉 隣國事有る時、忽ち保護或は仲裁の名を以て之れを干
 渉せんと企つ。之表面甲乙の靜隱を欲するに託して其實報酬を欲する
 に有り。若し其の際思ふ如く金銀土地を得ざる時は。忽ち開戦して其
 の國を併呑するに有り。
 五者皮相慈善 時々魯帝の諸國を巡回せるに其の名締盟國の信誼を厚
 くするに有り。故に巡回國の慈善主義の學校等有る時は。忽ち寄附を
 なして其の國民の歡心を買ひ希臘教主の慈愛を廣告す。然れども是彼
 得大帝の遺命に依るものにして。其の裏面の他帝の國民をして魯國を
 愛慕令るに有り。

六者教育之方針 露國の教育は大概宗教家(希臘教)の專任する處る。故
 に露國の人民の青年勉學の際粗ば宗教の必用を覺る。故に成長の後國
 家の柄權を握り國家の政治家となる時百般の所致に宗教の意味を含む。
 風俗 太古の山間海邊に住み其の生活の度、英の不列顛民族の太古よ
 く尙一層蠻風にして。樹下草中を家屋に替へ常食は木實獸肉。又衣は
 木皮獸皮なりといふ。中世紀に至りて漸く諸侯、平民、奴隸の三種族にて
 有りしも。近世彼得大帝の時代に大に國風進化して歐州西部の風俗を
 好むに至れり。尙目下の風習は上下共に沈毅勁武の氣象に富み政教一
 致の國風に傾き年を追て篡奪併呑の惡風盛なり。
 宗教 往昔の宗教は万物拜教なり。後ち紀元八百六十二年以降、伯蘭地
 安民族の所屬に歸し(諾曼人種)其の首長祿利克の代希臘人と貿易を始
 めしと共に。南部地方の人種は初めて希臘教を信するに至れり。之魯
 國へ耶穌教の入りし嚆矢とす。○耶穌國教紀元九百八十四年頃東羅馬帝

妹アンナと結婚したる「ウラヂミール」侯は國內古有の猶太教等を放逐して大に希臘教宣布に全力を盡たり(種々の異説奇談有り云)○羅馬加持力國教千六百〇五年に即位したるドミトリ五世は孝心と加特力教を全力を盡し終に王は加特力教を一旦國教と定めたり(一説)○彼得大帝帝は兄等の知らるゝ如く千六百七十二年に生れ。國權振起る焦慮し獨身蘭英等を巡回(匠工となり)し魯國の妹奪位の内患有ると聞き。俄に飯國して該患を靜定し後ち魯國百般の基綱を改良し。殊に宗教を以て國起の原素と定め古來の宗則に改良を加へ「法教師長」を全廢して。聖會院を置き宗教の柄權は一切聖會院にて所理する事を定め。又今日魯國政府の執る外國制略を遺命して。國權振起の第一基礎は宗教を活用するに有る事を教ゆ。帝の遺命は魯國の命脈と可稱なり。又希臘教を國教と再定したるも帝の時代に有り。

異教放逐 千八百五十一年に魯國は耶路撒冷に有る他教の教會堂を破

壞し。殊に加特力教徒を理由なきに暴行暴逐したるは宗教家の成す間敷き事なり○隣國干涉 千八百二十八年に英、佛、魯同盟して希臘國を土耳其政下より獨立令る際も希臘教國教たる希臘を偏助し自ら露國は土地金銀等を暴取したるは無關係の東洋人すら何様可惡所以と可言○魯土宗護の開戦 千八百五十四年魯政は土政へ土政下希臘教人の保護を求む。土政之を拒絶す忽ち魯の戦争を開きて土を打つ。然れども幸ひ英、佛同盟か土を助けられは魯は意の如く奪略行はれざりし。嗚呼魯國か宗教の假面を被り之か併呑の餌器として四方に其の欲心を恣にす。

魯國之佛教 魯國に「パスリエフ」(佛教論著者)ブラハツキ姉(神智教會創立委員)等の大家有りて著述講義等をなす者ありと雖も。國教嚴制して意の如く現顯する不能。故に魯國の首府聖彼得堡府等も多人數の佛教者有るも種々の變名を以て政府に反對するといふ。而して聖彼得堡府に隱働する佛教者は多く西藏語より翻譯したる佛書を用ゆれり。大に大

乗の傾き有りて歐洲西部の大小不分の佛教とは異れり。
 聖彼得堡府。横濱より大凡一万千八百二十哩おして魯國目下の首府たり。市街は多く尼瓦河ネーデルの兩岸に有り海邊に潮水を防ぐの大堤有り。三方おは諸國に通ずるの鐵路は蛛網の如く。海陸商通に適したる一大首府西歐より往くに伯林府より鐵路に依る有り。夏期ハ又海上波羅的海バルチックより芬蘭灣フィンランド湾に入る有り。然れども毎年九月比より四月比迄は海水一面の氷鏡と變すれば族人は多く鐵路に依る。冬期市民の多數ハ獸皮の衣お非ざれば寒を凌ぐ不能。毎年冬期の名物は貧民凍死の多數に有り。又尼瓦河の水滑と近邊の海上にて馬乗の競争と馴鹿お率令率令るそり遊びお有り。本府に於て記すべき價直有るハ市中雪中に聳ゆる所々の希臘教會(吾東京駿河臺なるニエライ教會堂の如くなる)の外諸官廈と彼得大帝の紀念像有るのみ。公立博物館等は倫巴伯羅お有る物より數等不完全なり。歐洲下等社會宗教思想之實驗 (教學論集六十九號及び明治二十三年の

開明新報可對見)

余が歐洲お在るの日時々政治家の「フェイスペンク」に招かれ。日本古來の習慣道義等を話し時としては宗教家の「ミートンク」或は「ソシーブル」或は「ピクニツク」等へも招かれ。種々の談話の中に彼國上中二種の人種が基督教に於る思想を粗探知するを得たり。彼國上中二種の紳士が宗教事業お喜捨金を成し。或は時としては寺院お出入する者有るも唯古來の習慣的と社會數人の人望を得るの手段おして。基督教其ものをして成すには非ざるなり。彼等上流社會が基督教お冷淡なるは日ハ無宗教者の佛教お於るよりも尙一層甚きものなり。日曜日等に詣で、聽衆の人物を見れば思ひ半に過るならん。歐洲上中の多數ハ基督教を以て闇黒世界の歐人の胸中を照そ價直无きを知り。之に代る眞理十分なる宗教の燈炬を求るは英佛日米万を以て可數。佛國の「ブオルテール」ルーツ氏等の主張する無宗教派リベラルは大お其の勢力盛にして。終に千八百八十年

其本局を創設するに至れり(万国自由思想會)其他英のスペンサー氏等日の「グリーンム、フロンツボック」氏等の社會。基督教外に別な正直の倫理學あるを説く然りと雖も日曜日教會に出す不能。又讀書するに資暇なき貧民の何なる思想の伏し居る歟を知る不能。余或日英人某にこの方法を問ふ某し色を正して。語て曰く君若し歐洲下等社會の宗教及び一切の實景を知んと欲せば一大方便有り。然りと雖も君この危難に堪ゆるや否や余其方法を問ふ。彼れ答て曰く毎土曜日に日耳曼の「アントエルツ」港より歐洲一圓の下民を投載して南北両米へ殖民を送る是なり。君若し之を同船せば彼等の一切を知るならん余喜で某を謝し。二十五年二月二十八日日耳曼の「アント、エルツ」港より「フリースランド」號に乗じて同港を解纜す。船中の出來事を左に畧記せん

船中室内之奇様。本船の乗客三千を容るゝと言ふ大船にして。余は上海より馬耳塞港迄お嘗て不見大船なり。第一層は上等室と船長室第二

層は中等室第三四は殖民室第五の閣底の牛馬荷物室お當つ。余は第三の殖民室に入るお正に異界の奇相を現せり。先づ各自欲する處に順て與る殖民室と言ふは豎五尺餘横一尺七八寸餘高二尺五寸計の箱に筵の如き物を敷きたる奇室否珍穴なり。晝夜電燈有れども各室への光洩れず。又この室へ入る時は靴のまま這ひ込む様自身と自身を笑ふの外なし宛も其の相熊の穴へ入るが如し。又日々の鹿食の奇なること人間の可食物とも難し思(余は別に食を求めて命は支へたり然るお彼等无量の殖民等の毎日早朝より眼を覺し雞羊牛馬の鳴くを真似る。余初めて歐洲下等社會の奇風なるに驚けり。情彼等の有様を思ふお彼等は形こそ人間なれ。宗教の何物たると道義の何物たるを不知實お精神牛羊に異ならざるを知る。其の食を待ちて露々唾々とするの理りを覺れり。余この様を見此の聲を聞て現在の餓鬼現在の畜生道といは是なりと思ひ憐に愛涙の流るゝを不知し。余が購求し有る食物を毛髮油斷有れば忽ち取り去れり唯黙

然として自笑するの外なし。又殖民級には日々一回の飲水を與ふ。余この水を得る有様を見るに數時間甲板上に前後を争ひ。小兒の泣く有り老人の踏るゝ有り其の奇相語る不能。余も試ふこの群中入り甲板上一時間余おして漸く二合程の水を得たり。穴に至りて之を飲む味ひ甘露の思をなす。余以來飲酒の冥加を思ひ水茶を以て飲糧の无上なるを知り。不足の念を不起し。

船中に於る宗教の有様。三月一日勤行の後甲板上の乗客お對し一場の講話を開き「バイブル」基督教の可信を述べて彼等が該教お於る思想を探究せり。然るに彼等は黄色人の生の話を何如思ひしや。嘲弄する者あり笑ふ者あり中には「パン」の嚙切を投ずる有り。囂々嘯々電の如くお障礙して余をして終り中止令む。

二日。又前日お續ぎ福音を述べ熱心お基督教の功德を説く。然るに彼等前日お反して余が話を謹聽せり。群中英語の解せざる者は唯余の

話を見て笑ふのみ。終て彼等は余を前後左右お取巻きて質問湧が如く。甲の言く君先辨の如く神の全能全智おして一切を能造するの力ら有らば。何故本國お居る不能して殖民するの不幸者を造る耶。乙曰く何故神は世に悪人を多く造りて善人を少く造るや。君の先辨の如くはアダム、イブ神命に背くお由ると辨すれども世間の法律を祖先の罪を子孫お歸せず豈道理の不許所なり。丙が云く一切の物神の能造おかゝらば何故土水火風に生質のみを不造。災質死質を造創するや畢竟神は無きものあり。假令有るにもせよ不完全の神なるべし何ぞ信するお足る神ならんや等と。罵言左右より降りて正お余を腕力に訴んとなせり。四五兩日。暴風雨にて終日穴居して甲板を呑む波濤の大聲を聞のみ。六七兩日。余前お反して彼等お對して三世教の眞理則ち因果法を説きて。貧富智愚貴賤男女長壽短命醜美善惡一として三世の因果に由ること現在の勉不勉に由て有學無學有るが如し云々と二時間餘の長話を

成したり(兩日共)然るに彼等ハ又種々の質問を起して余が説を難せり。余は充分の力を盡し十因四縁五果等の差別有る事を説明せしに。彼等の中にハ三世教の因果法の實に如し是深妙不思議の法なりやと感服せし者も多く有りし。亦余が念佛するを見て共に稱名するものも有りし。

八日 前九時より大波起り甲板上を左右する水相を見て乗客一統面色土色の如し○九日 前日の疲労ひて一人として甲板に遊ぶ者なし余も闇穴に蟄居して心中佛恩を念報し居れり○十日 早朝より皆々甲板へ出て互に無事を祝したり。余亦先日に續き六因四縁五果等を詳説し八日の大波は何に由て起る。又この大波の結果は我々に何なる感情を與へたる。耶基督教の言ふ如く一切神の能造と言は神何の理由に由て如し是の暴風を起とや等。是等ハ全く神有て成すものに非ざる事を説明なせし前日より一層理解したるものゝ如し○十一日 午前十時佛國より送りたる自由の巨像を詠めつゝ紐育港へ安着せり云

右探究の結果より歐洲下等社會の宗教思想ハ觀察を下すに。基督教を信せざる而已ならず彼等ハ彼等自身の貧窮に就てハ大に恨心を懷くが如し。然れば則ち歐洲一般の基督教は或は國教に或は公認教ハ其の表面盛なるも其の信仰の命脈を失ひたること九死一生の病者の如く。又主人无き空家の如くなり。上中二種の人民は哲理科學の明鏡に照して基督教の真相を發見し。下等無學の下民等は自の貧困ハ就て大ハ疑團を生ず。實ハ世間の不可思議と可レ言。故ハ彼等宣教師ハ自の本國を去りて東洋の地ハ宣布せん事を勉む。之を淺薄に譬ふるに市府の老娼田舎ハ轉居して舍田の青年を欺んと欲するが如し。又市府ハ流行終りたる古衣を山家の若娘ハ賣附んと企つが如し豈奇怪の至りならずや。

●米國之部

位置及び畧歴 北亞米利加ハ東太西洋に臨み。南墨西哥及びパナマの地峽を境ひとして南米に連る。西ハ太平洋ハ瀕し。北ハベルリントン、ス

トレイトを隔て、亞細亞の西比利亞と相封と。南北大凡五千哩東西三千餘哩なる西半球の大陸なり。而して今を去る四百年前則ち西歴一千四百九十二年ハ伊人コロンボス氏イサペラ後の補助ハ由リ。初て「バハマ」等の諸島を發見し終ハ南北の大陸を發見と。其後千六百年の頃は北部加奈陀は佛領に屬し中央英國の所領となり。南部墨西哥及び南米は西班牙の所有に屬す。然るハ千七百五十四年後英、佛、西の開戦となり。結局英國の所領に歸しかの西半球の全陸は全く英政の下に屬せり。噫、ジョージ三世の暴政は終ハ十三州の激昂を催シワシントン、アレキサンデル、ハミルトン等の盡力終ハ十三州を自立令む。今日の米人ワシントン氏を國父と稱す豈理りならずや。而して氏は一千七百八十九年大統領の椅子を占む。

面積 中央合衆國三百五十五万七千餘方哩。英領加奈陀三百四十万六千五百四十余方哩。墨西哥七十五万四千百六十餘方哩。其他ホンジュラ

ス等の九領及び西印度等を合算すれば八百八十三万二千二百余方哩人口 八千八百二十二万三千四百二十四人。

風俗 人民智識富み(米人「インチアント」稱する土人は除く)便利の器具及び機械等を發明して。專賣特許を受ける者年々數百種(余はワシントン府ハて專賣特許局の拜觀を得へ其の多數ハ感じたり)又米國特別の風俗は男女同權の盛なる是なり。今其の一例を舉んに郵便局の役員瀛車係りの役員を始として。華盛頓の政務局ハ婦人官吏の多きは歐州ハ其の類を不見なり(英、佛、日等ハも多分有れども)亦婦夫他ハ出るハ婦を先ハし婦の「カバン」を夫の持つこと宛ハ日本の家僕の如し(中下社會)又上流社會の馬車等ハ乗ずる際も夫が婦を補る相を見るハ氣の毒なる程なり。假令他人と共に瀛車馬車等に乘ずる時も。男子先に乗りて其の坐を令めよ入りたりたる婦人坐するハ位置なければ男子立て席を讓るハ普通の習慣なり。余其の奇俗なるを米人某ハ問に。謂く最初歐州の人民殖民

そるもの男子多して女子少しと由て勢ひ女子の歡心を買ふて我婦も望みたる風漸々今日同權の基礎を成すと。

宗教。米國目下の宗教の共和政治の自由と共に宗教も奉教自由制度なり。今其の一例を挙げば憲法第六條の末文「合衆國の官職若くは公信の地位に任ずるに當て敢て宗教上の吟味を不要べし」云。又曰く補正第一節「曰く國會は宗教の制定に關して法律を定む可からず其の自由を制限すべき法律を定む可からず」云。是を以て之を見るに米國は宗教に於る自由は英、佛の如く國教なく。佛國の如く公認教なく唯宗教は人民の欲する處に放任す。故に新教(この中「メソジスト」派「バプチスト」派「プレスピテリアン」の三派が第一盛にして其の次は「コンタリゲーションナル」派「エピスコパル」派等の諸派之次ぐ)八百四十四万九千五百余。舊教六百八十三万三千餘の信徒を持するを始めとして佛教も、猶太教も、波羅門教も、モルモン教も、孔老の教も各自ら欲する宗教を信す。余紐育等の諸

府に在りて日曜各派の教訓を聞く。説教は多く愚民的の説教にして(新教殊に甚し)學者の耳を穢す程の風あり。又各寺院教會は音樂を以て日曜愉快の一端を備ふが如く又競て美を争ふの風と見ゆ。

佛。米國は世人の知る如く國教公認教の法を以て。政府基督教會を年々補助する事なきも。政府莫大の補助する歐洲よりの一層基督教の勢力の盛なり。然るに近來「フェノロザ」「インガソール」「ドレーバ」「ソールタ」「オルマツト」等の大家「ホワード嬢」「ブレエナード嬢」等の諸賢姉。大に佛教の眞理を發表せし以來漸を逐て佛教書籍を著目する者多し。其の一例を挙げば「オルマツト」氏の「佛教問答」「アーノルド」氏の「ゼ、ライト、オフ、エシヤ」の如きは愕く程の購讀者なり。就中紐育市「ピオ、ボックス」二千六百五十九番地「ポストン」「ピオ、ボックス」千八百六十八番地「カゴ市」「モンロ、ストリート」百十一番「サンク、シロウス」「ピオ、ボックス」二百九十六番「ヒラドリフイヤ」「セント、ストリート」百二十九番等に有る「セナソフイカルソサイチー」會

員中ふは餘想外の佛教者有り。是等の會より發行する雜誌及び「サンタ
 クロス」にて發行する「ブッシュストレー」等も感心をすべき事業なり。元來
 目下の佛教の近來の事なれども米國佛教者の説を依れば。佛教の二千
 五百年前ふ己ふ一度び「ペーリング、ストレー」を越へて米國に入りし墨
 西哥等に今ふ其の事跡明かなりと云へり。余所々の博物館内ふ有る
 南米カピンより掘出したるといふ文字及び佛像を見るふ其の説の虚か
 らざるを知らり。余が望む處の英、佛へ佛教宣布も必要なりと雖ども因
 縁の有る米國の第一着に海外布教者の派遣を諸山の識者に望む。
 耶蘇教外の倫理。何れの國も宗教を以て倫理を教ふることの一般なるは
 東西古今粗異なることなし。然るに近來米國の或る一派の學者社會は
 將來基督教を以て人智日進の青年に道德を教訓する價直无きを覺り。
 基督教外に別に倫理の教訓を立んとす。今其の一二の例証を挙げば彼
 の有名なる「フーリツク、アトリア氏等の諸氏等の所々支會迄開きた

る「チツクリング、ヘェル」の「エームス、オフ、セ、エシカル、ソサイチー」の如き
 又た「エメルソン氏等の開きたる「カルチエル、オブ、エシカル、ソサイチー」
 等の如きは皆基督教外に立て倫理を立んとする一大運動なり。米國基
 督教が自國の人民に道義を教訓する不能可なり。

紐育府略景。本府は北米第一の盛市にして合衆國、紐育州の西南に有り。
 東方「イースト」河南方「ホドソン」河(或は「ノース」河とも稱す)に狹まられたり。
 南北七八哩東西一二哩なる細永き岩石の奇地なり。コロンボス氏發見
 後百二十二年則ち西曆千六百十四年比ふ和蘭人初めて此に殖民し。こ
 の市の全地を土人より二十五弗お買ひ取りたるといふ。然れども目下
 市中要地の所は一間四方二千五百弗お超過する所有り。又其際二三
 十の殖民草莽の中お住みたるも目下人口百六十万を有すといふ。市街
 は「イースト」何番町「ウエスト」何番町と數へ。又南部日本領事館の有る地
 杯の「ヒ、オ、ボツクス」等にて數ふなり。市内に頭上四筋の鉄道ありて市街

巡回の便も供ふ。又其の下を鉄道馬車ありて市中遠近賃錢同じ○又「イースト」河の世界第一の鉄橋を架て對岸の地「ブロックリン」へ往く便も備ふ。橋下何なる大船も帆の儘通するを得。橋上五筋と分ち蒸車道諸車道人道と分つ漸くこの大橋千八百八十三年も成せり○又市中第一の巨街の「ブロードウェイ」ありて又市中第一の「チャーチ」巨寺もこの町あり○「ウォルト」と稱する新聞社は十三階ありて市中第一の高堂。又税關は歐州も不見處なり。然りと雖ども歐州倫巴ロバの市府を見たる後に一切薄弱にして可記價直なし。唯歐州諸市に不見もの「セントラル、パーク」の仙境のみ。倫敦の「ハイト、パーク」パリ「ユンゴルド、パーク」美なりと雖ども人巧の美この「セントラル、パーク」の美なり。天然の山水も人工の十分を加へたるものなれば。一度びこの地も入れば旅の痛苦を忘れて長日未だ時間の不足を覺ゆ。四個の湖水數個の山實も世界異境の清慮を令懐。

奇鬼怪物。米國は佛日に異りて英國と同く公然官許の娼妓無きも。默許の密賣煙の擲く程の盛力を有す。本市のみみて已む三万餘有り有といふ。故も本市の西東兩端は多く彼等の巢窟ネストたり。彼等は薄暮より四方も群隊或は獨歩して彼等の巢窟ネストを誘引せんと勤む。就中市中四筋の蒸車場の往來人の數よりも其數多しといふ歐米各所の盛市もは何處もこの怪物の多きには。石流に基督教を以て薰陶する程ありて唯だ感心するの外無きなり。

日本婦人美德會。「イースト」七十二番町の本會の婦人の位置を高尙にせると共も又婦人の美德たる温和風を學ばんとするもあり。余この會の規則を見るに毎月一回日本服にて相會し會場可成日本の器具を用ゆ。日本料理もて會食の後日本婦人の諸藝等を學ぶにあり。余會員アンコ嬢の紹介も由て一度出席の上日本古來の女禮式の片端を話し。又五戒の大畧を現在淺近の物々に當て、語りたることあり。この會員の語る

處に由れば歐米の婦人が前髪を少く切り垂るは。日本雛人形の前髪の愛らしき形取り。又婦服の後邊の紐の如き絹切れを垂るゝは是又同前。又近來流行の「ミカド」髪は(米歸人が束髪を養を出す風なり)全く日本婦人の髪を習ふ。又洋女服の近來襟の裏を出せあり之亦同上。其他日本の美風を歐米人の模倣せる事故擧に不暇。然るも却て日本に美風のあるも不拘。唯歐米の風と云ば善惡共に學ばんとするは妾等の不解處なり云と語れり。余はこの話を聞き日本人中西洋拜崇家の淺薄なるを愧ぢ忽ち滿面紅を潮したり。近來日本人の所業に就き心有る歐米人より毎度吊詞を頂くも理ならずや。

日曜日 一般休業して基督教信者の寺院教會に出入すること歐州を異らす。舊教の懺悔室の話し新教の男女會合の目的等あ就て調べたる事あれども。話し長ければ後日(歐州基督教實景)暇有らば別記すること有ん。

日本人官民の畧話 在紐育の日本人は大凡二百人内外なり。就中日本領事館は「ウワレン」町七番ビ、オボツクス二百八十四番(余が在米の時はその頭梯二)又正金銀行支店は同町同番地(桑名の人作氏)同伸社支店は「ホオールド」町四十六番關西貿易會社。及び森村商會は「ブロードウエー」あり工商會社は「イースト」二番町十八番あり。各々中々盛に商業を營み米人に日本の美術を令知。又日本人俱樂部は「イースト」二十五番町二百二十七番にあり毎月在育の日本人爰に集り。時事及び道義を語ひて同朋の情を温む。余領事の紹介あり由り爰に宿し久々あて豆腐汁は日本飯を食したる其の美味今も不忘なり。又會員の需めあ應じて比較宗教の片端を購話し。日本人たる者は必ず佛教を可信理由を語りたる事あり(後日詳話せん)

華盛頓 華盛頓の彼の華盛頓氏の名を以て首府の名に附したるものにして「ポトマック」河と「エスタンプランツ」河の會所あり。華盛頓が推され

て大統領の椅子を占めたる際初めて(一千七百九十一年)この處に議事堂を立てたるも目下は人口十五万を有す。然れども毎年十二月後國會開會の際を除くの外は年中寂々たる市街なり。而してこの町は中央政務局を中心として四方に新設したる町なれば。東南はワシントン、スリ、みて起算し西北は、エ、ヒ、シ、みて數ること紐育のイスト、ウエスト、みて起算するが如し。而して其の巨街の合衆國の州名を用ゆることペンシルニアニア巨街等の如し。我日本公使館(余が在米の時)は建野郷三氏)始め各國の公使館は多く此の地あり。又大統領の官房の美館も此の市に有り。唯特記すべきものの專賣特許局中に陳列する諸の巧妙方を以て數るを見て。米人が開國の新なると共ふ新思想を富むには感服するの外なし。フイヤドリフイヤ市。ペンシルバニヤ州の東岸に有る一市にして。國文華盛頓氏等が十三州の自由人民と共に。英政下より今日の獨立國に至ら令る基礎の密議の此の市の「チウストナット」の自由會堂あり。米

人この府を愛慕すること若嫁の古郷を愛慕するが如し。目下人口八十五万余を有する當市の物産とも可云は工業にして可記の大學と造幣局等なり。

チカゴ市。彼の有名なる「メチガン」湖に接近したる「チカゴ」河に跨る一大都市なれども漸く千八百三十四年僅々たる市街の基礎を開きたり最初に此の地を殖民したる白人は纔ふ土人より古靴一足にてこの地を得たりといふ。然れども一度に鐵道の自由を得船舶の運路開けし以來目下の人口七十余万を有する良港を産出せり。殊に近來の大火(今より廿六年前に二晝夜間に數万の戸を焼盡せり)以來石造の大館以前十倍して本市の特産とも可稱鐵軌造、飲食糧、材木の三大商業の日を追て盛なり。然れども本市は飲水不善良にして。全市悉くメチガン湖上の水汲機械より引用す。余思ふに本年の世界大博覽會以後は大に其の市盛を増すならん。

桑港市 本港の「カリホニヤ」州の西岸に位する合衆國緊要の良港なり。然れども漸く千八百四十年頃に五六十年の殖民蓬々たる草萊の海岸に憐れなる隠屋に住して僅に捕鯨を營み。或は獸皮交換杯を業として生活せし位ひなるも。僅々五十年頃目下の人口二十万余を有する盛市とは變ず。最初白人のこの地を殖民せし頃は一區の地價終つ十弗位ひなりしも。目今は二三等の地と雖ども二十五万弗以上に登せり。而して「マーケット」と稱する町は本港第一の美且つ巨街にして在桑港の日本人等は大小稱嘆し居れども。倫敦及び巴里の巨盛街を見たる者の眼に格別なる町とも思はざりし。日本領事館及び正金銀行等も此の「マーケット」に有り。又其他吾國より小商ひの支店も澤山有り。又支那人の如く労働社會を身をしむ吾々日本人外人に對して可愧。青年が「クック」等の賤業をなし居るの多きは大に我國の体面に關すと云ふべし。余珍田總領事其他の諸氏に在港の數を問ふ本港に及び近邊の「カリホニヤ」

州に散在せる日本は大凡三四千も有るならん。左れども領事館へ公然届をなす者は一千八百名のみと。本港には有志相ひ計ひて日本新聞を發行し或は日本會なる諸會は日本の爲めに不可欠となり。而して最も悲く最も可忌二大件有るを見る余はハリスホナル巴里館の盛ゴールドン、ケイト、パークの美セール、ブロックスの奇を話をより。可忌可悲二大件を話さん何ぞや。謂く外人の補助にかゝる基督教會を以て日本青年を外教に誘引すると。又密航の毒婦日本の國名を穢すの二大件是なり。其一の桑港は「ジャパンニス、エム、シ、ミツシヨン」及び「ジャパンニス、コープルサイチー」を始めとして其他一二の會は米人の補助をかゝる教會を引きて。初めて日本人の渡米したる者を止め置き或は資本无き貧生が安價の宿料を止宿令め。傍ら「ハイプルの講義を令聞漸を追て外教を誘引する規則にして。表面大に慈善主義且つ便利なるを見ゆれども。彼の錢奴なる外人目的なくして日本人を惠まんや。彼會の本意唯だ日本

語に通ずる日本人も基督教を令教歸國の後日本國中へ基督教弘通の便
 お使用せんとするの外無之なり。然るも無分別お渡航したる者一時の
 究迫お由り止むを得ずこの教會に入り。後日日本國の不忠臣となり郷
 國父母の不孝者となるをも不願是等の策網お入る豈悲しからざらんや
 余彼地に在るの日は等の教會に往き會則を得て之れを見るお其の手段
 至らざるなく。余或日米人「ホオーク」氏の所轄する教會お往きたるお其
 日日本人にして洗禮受る者男女合して十三人余。其有り様を見て悲涙
 点々唯「ハンカチーフ」を濕その外有らざりし。翌日日本人の數名お古來
 古有の宗教有る國へ新お基督教入りたる國として其の國亡びざるな
 し。往昔文明の大陽光々たる希臘、羅馬、埃及、印度等悉く同一規轍に由る
 日六人たる者の豈國家の興廢に注目せざる可けんや。又佛耶兩教の眞
 理思はざる可けんやと教訓をなしたるに。大に改悟したる者も有り又
 中お到底改悔する不能。余が歸朝の後福井縣下のものおて左の書簡

を余に送りたる者さへ有り。左お其の書簡を載て讀者の注意を乞
 主の御恵みに依て愛する君に迄一書を呈す生は貴君御出發の節御乗
 船迄送りたれども相見ることを得ざりし今や貴翰を得て無事御安着を
 知りて喜ぶ君と分袖後君に向て書を呈したり着せしや否や君の來意
 お依れば君の歐洲行きは佛耶兩教何れが優劣なるやを調査せられた
 るものゝ如し而して君の基督教本國の不熱心不道德は佛教者の不熱
 心不道德に數倍せりと云せられたり左れども生は今君に向ふて反駁
 の必要なし少く事を辨する者は冷く之に付て知る處なれば唯生は君
 に向て三保の松原おても退き御自身の靈魂安心を得られん事を切望
 する事お御座候今此の書を認むるお先立ち君の靈魂の「主イエスキリ
 スト」お依て救はれん事を祈りたり左に生の主より受たる御恵みの事
 實を君お書き送る生は御承知の如く越前の山奥に生れ常に熱心なる佛教
 信者の父母お養育せられ十一歳の時京都お遊び東西本願寺へも屢々

参りたり十九歳の時父母の膝に有りて佛教を信する必要を教へられたれども傲慢にして自の罪顧る事を爲さざりし爾後米國ふ來りて大望を懷き自ら不品行に墮落せし事を恐れ常に教會に往きて説教を聞きたり生の一千八百九十年の初より自の靈魂の汚穢を知れり左れども小生の疑團の佛耶何れが真正なるに惑たり由て日本より佛書を取り寄せ種々調査お心身を盡したり然れども生が淺學薄智何れか真正なるや否は知る不能し故お生は跪きて左の如く祈りたり

私わがの自らの罪を知る私わがの造主よ私わがを司る主よ眞の教主よ私わがを救玉へ斯く祈りしは眞心なりし然れども其の祈りを聞きたるを不知一ヶ月を経て六月十一日午後九時十九分生は全く「主キリスト」の寶血お依て罪を救れたるを知りて感謝したり之生の一点の疑ひもなくして基督は吾教主なる事を信じたり今ハ幸おも當州の首府「サクラメント」おて傳道致し居れり。君よ生は君を欺んとするものに非ず君の靈魂の誠

の主お救はれん事を願ふものなり君生が眞言を容られよ「アーメン」

年號月日

在米 サクラメント木原某拜

禿 某 閣 下

余は重て佛耶兩教の教理と今日歐米の宗教思想と日本人の可レ信ハ佛教なることを言ひ送りたり然るに其後何等の報知も不レ來ナリ。嗚呼無分別の青年にして着後木原の如き者其の數を知らず。在日本の父母たる者小兒の際より佛教耶蘇の比較を教へ深く佛教の勝るゝ事を知ら令め成長の後何國へ渡航するおもせよ其身獨り佛光中に起臥する事を證ら令めずば親子永劫の怨敵となるのみならず。又日本の不忠民とならん一犬虛に吠ゆれば万犬實を傳ふ。一生基督教お墮れば衆生共に墮す。嗚呼日本將來の青年よ深く思ひ。情ら慮りて彼の如く可憐可悲迷路に奔る勿れ。

次に國民の義務として黙する不能件とは密行婦人の賣姪國名を穢す之

なり。余在桑港等の毒婦を聞くに米、佛、日、支、印、伊等の毒婦も共ニ桑港等に居らざるハ非ず。然れども彼等は大小注意して畫中客を誘引するを思ひ然るハ日本婦人の獸婦等は更ニ愧懺の色なくして白晝公然國名を穢すハ豈可惡の至りならずや。余在米某官に之が禁ずる方法を問ふに某官愁然として答て曰く唯日本政府の外航者ハ注意するの外なしと余ハ終ニ臨んで日本の識者ハ願ふ右に述べたる二大伴悲みても尙余リ有り然りと雖ども心を靜めて日本佛教者の外國弘教の冷淡なるハ觀察を下せば實ニ對岸の火災視より尙一層甚し(中ハは造次頓沛唯々この一事ハ心を痛ま令る人少々有りと雖ども天下の多くは)豈宗教者の本務ならんや再び余彼地に至りて大悲傳普化の大任に當らんことを欲す。然れども余が貧生何を再び企る事の全きを得ん。加之歸朝後時々病魔の訪問を受く希くハ天下の識者。諸宗の管長殿下今日は愛妾膝枕の時に非ざるを記憶とべし。無形心の戰場なる事を記憶すべし希くは日夜の驕奢

を節減して東西無方角の青年をして彼輩の如くなら令る勿れ。漸々日本人在港の樞要地へ其適する布教者を出し。進でハ在外日本人をして夢中徒らに佛教を渴望せしむるが如きことをせず。退てハ將來基督教の甘言を妄信する者の爲ニ國爲ニ法減少令るやう國民の本義を盡されんことを。

世界宗教略話下終

明治廿六年八月五日印刷
明治廿六年八月十日發行

著者

福井縣平民

禿了教

越前國今立郡橫江村十五番地

發行者

兵庫縣平民

清水精一郎

京都市下京區油小路北小路上ル玉本町第六番戶

印刷者

京都府平民

西村十次郎

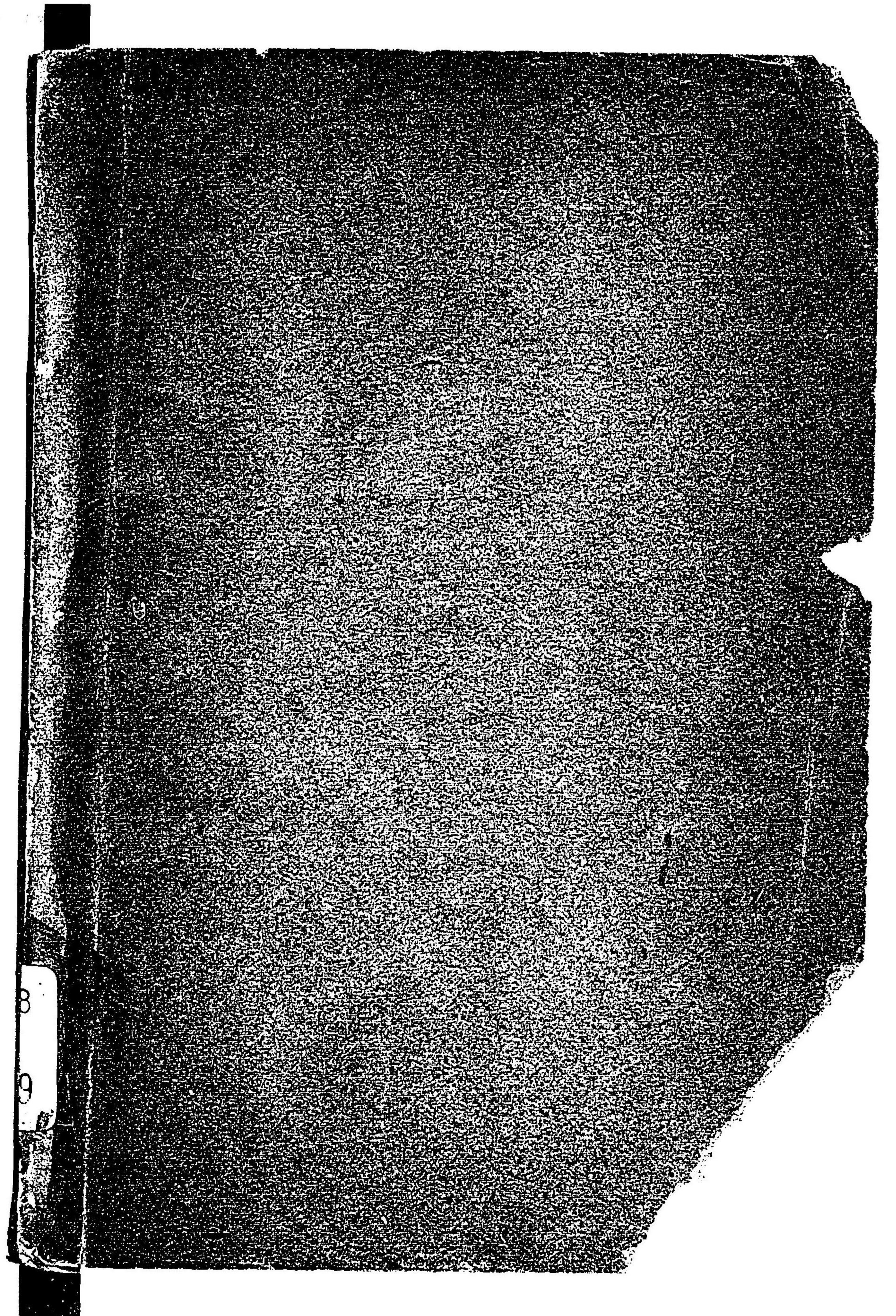
京都市下京區五條通鉄屋町西入ル三十七番戶(印刷業)

版權
所有

發行所

興教書院

京都油小路北小路上ル



8
9